

第3章 調査結果の分析

1 定住性

-
- (1) 居住地の評価
 - (2) 地域の暮らしやすさ
 - (3) 特に暮らしにくいと感じること
 - (4) 定住意向
-

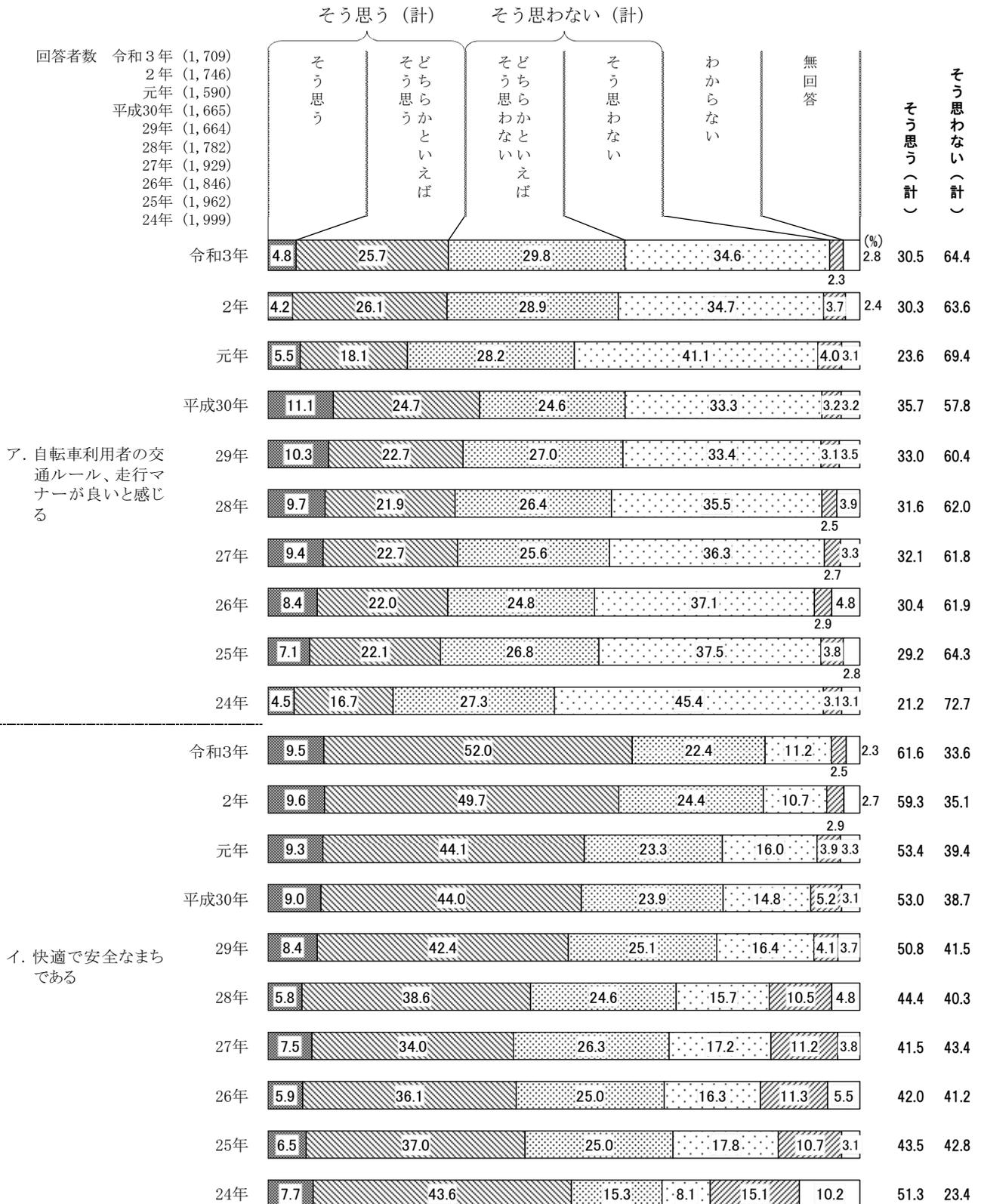
1 定住性

(1) 居住地域の評価

■ 〈普段の買い物が便利である〉と感じている人は約8割

問1 あなたは、お住まいの地域について、どのように感じていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

図1-1-1-① 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

図1-1-1-② 経年比較／居住地域の評価

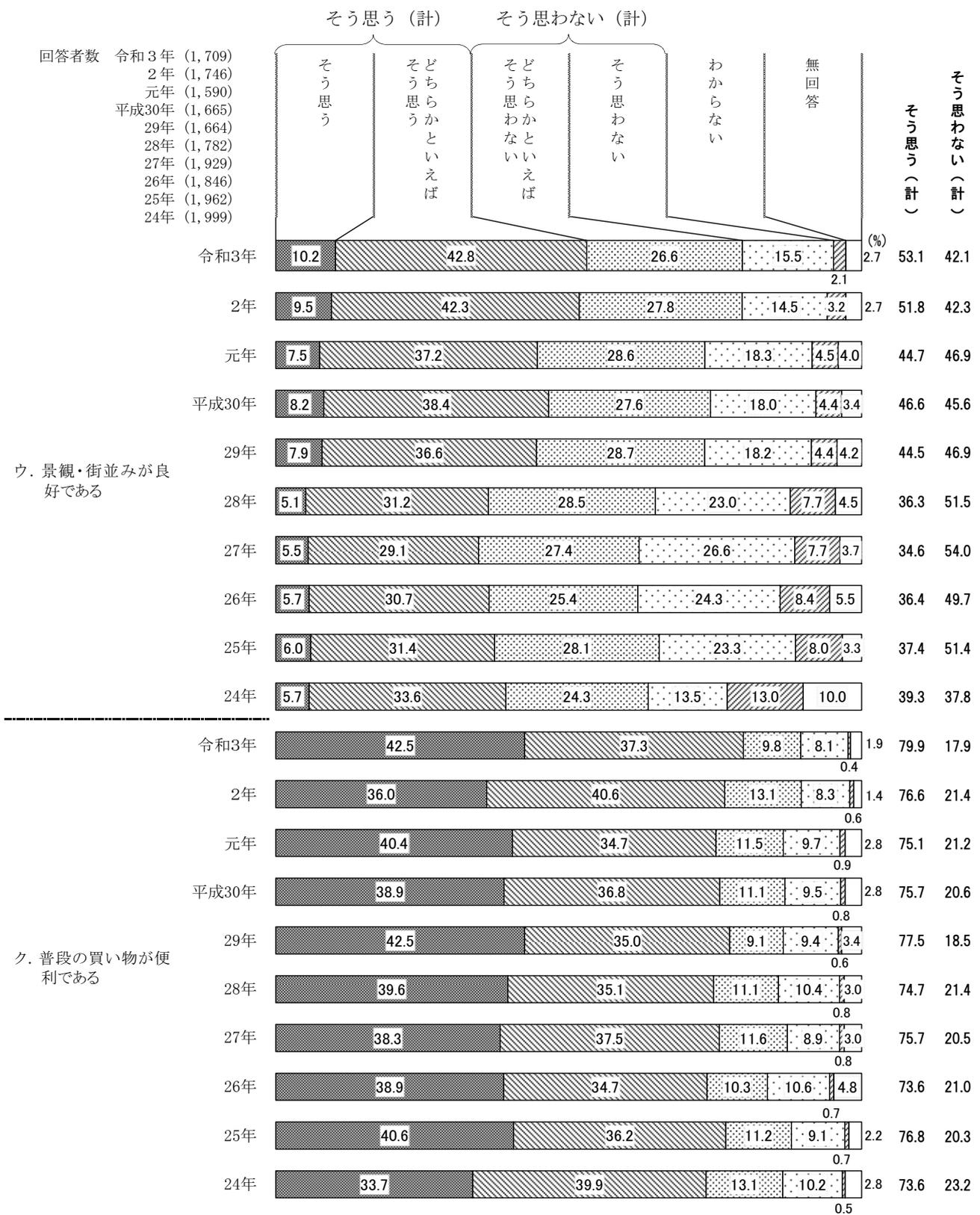
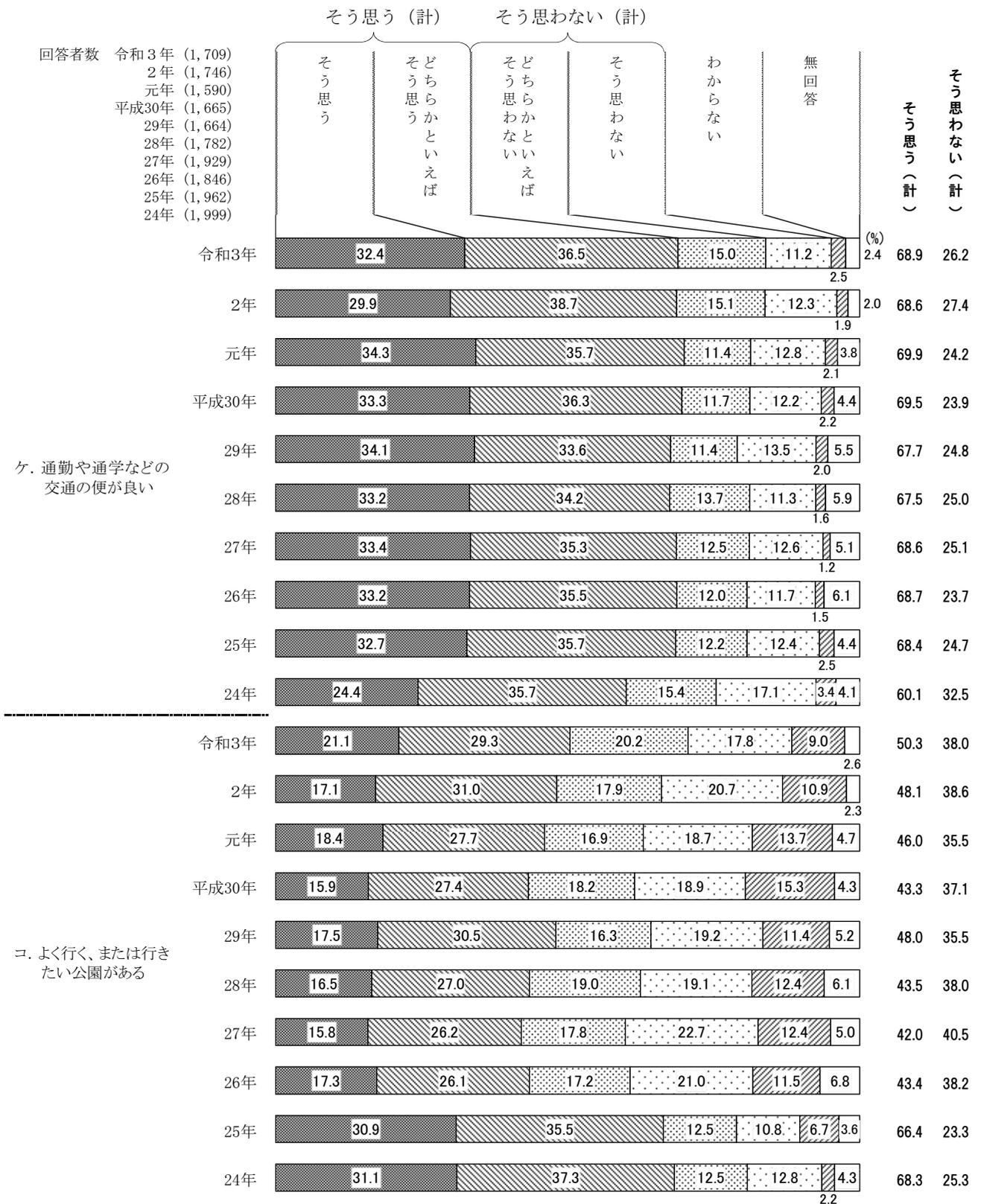


図1-1-1-③ 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

図1-1-1-④ 経年比較／居住地域の評価

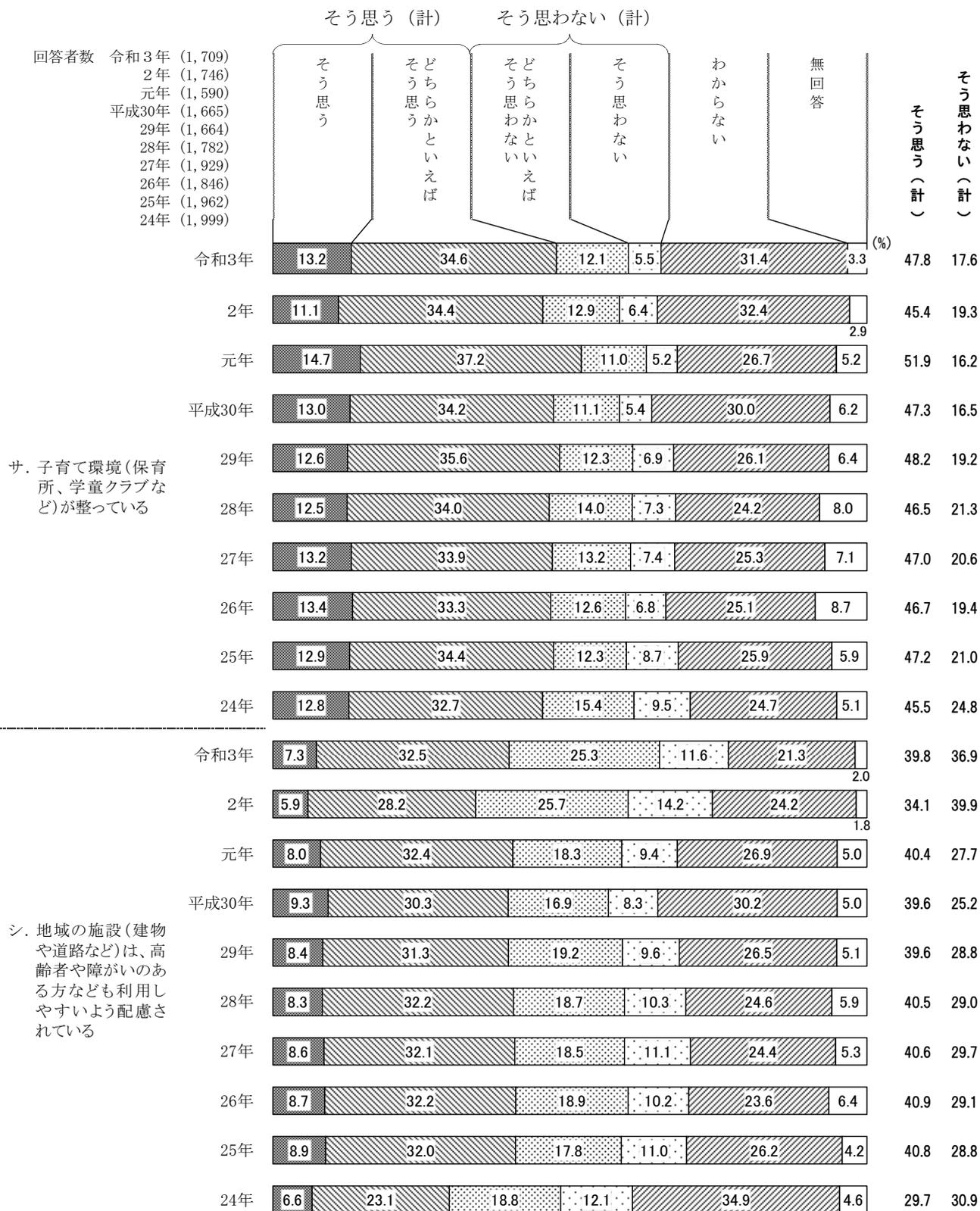
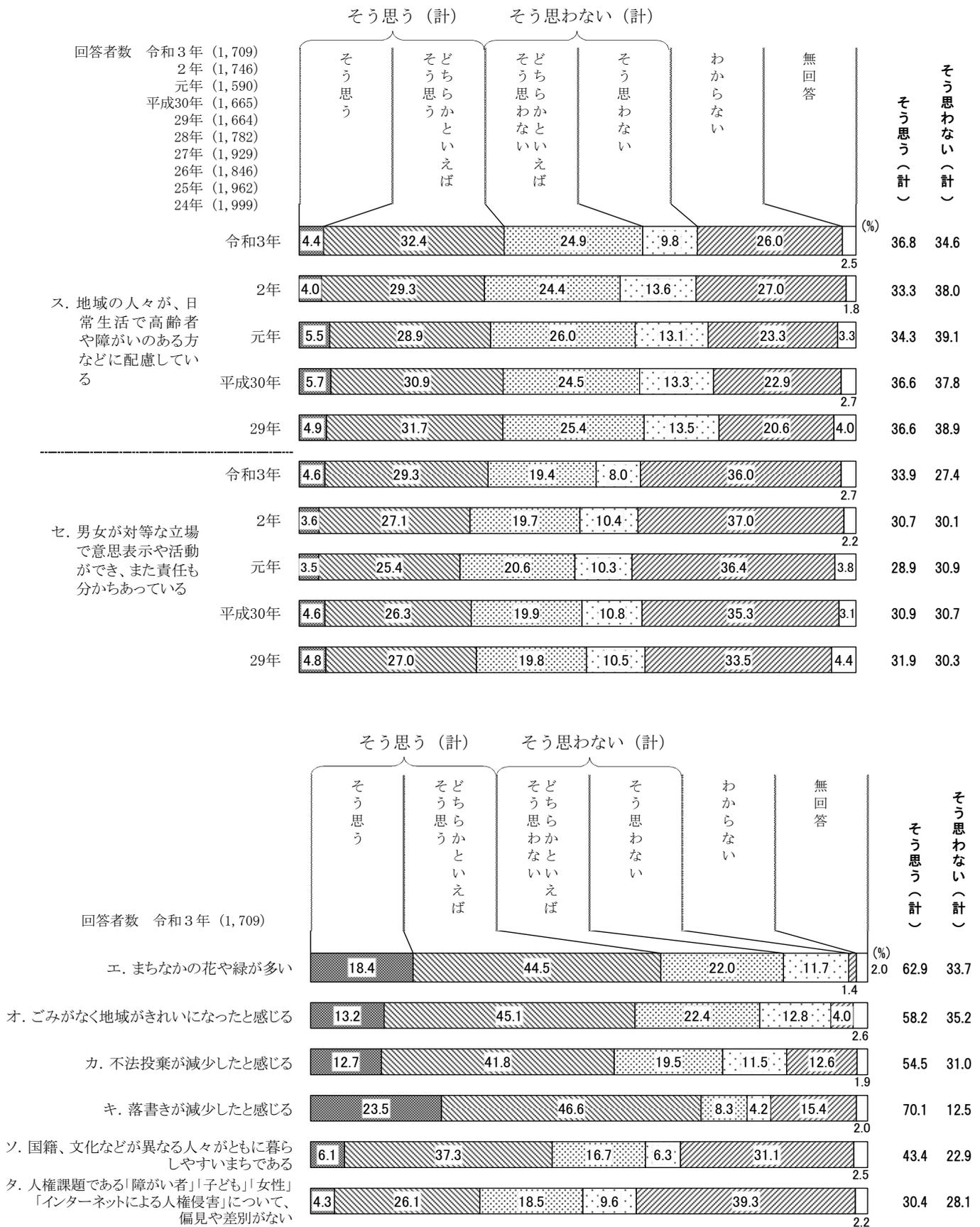


図1-1-1-⑤ 経年比較／居住地域の評価



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

- ※ アは、令和元年度「自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている」から表現をかえた。
- ※ イは、平成28年度「快適で安全なまちづくりが進められている」から表現をかえた。
- ※ ウは、平成28年度「景観・街並みが魅力的になってきている」から表現をかえた。
- ※ エ、オ、カ、キ、ソ、タは、今回の令和3年度からの新設項目。
- ※ コは、平成25年度「利用しやすい公園がある」から表現をかえた。
- ※ シは、平成24年度「高齢者や障がいのある方も施設が利用しやすい」から表現をかえて、令和2年度に「地域の施設」の部分で「地域の施設（建物や道路など）」に表現をかえた。

住んでいる地域について感じていることを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、〈普段の買い物が便利である〉が79.9%で最も高く、以下〈落書きが減少したと感じる〉70.1%、〈通勤や通学などの交通の便が良い〉68.9%の順となっている。

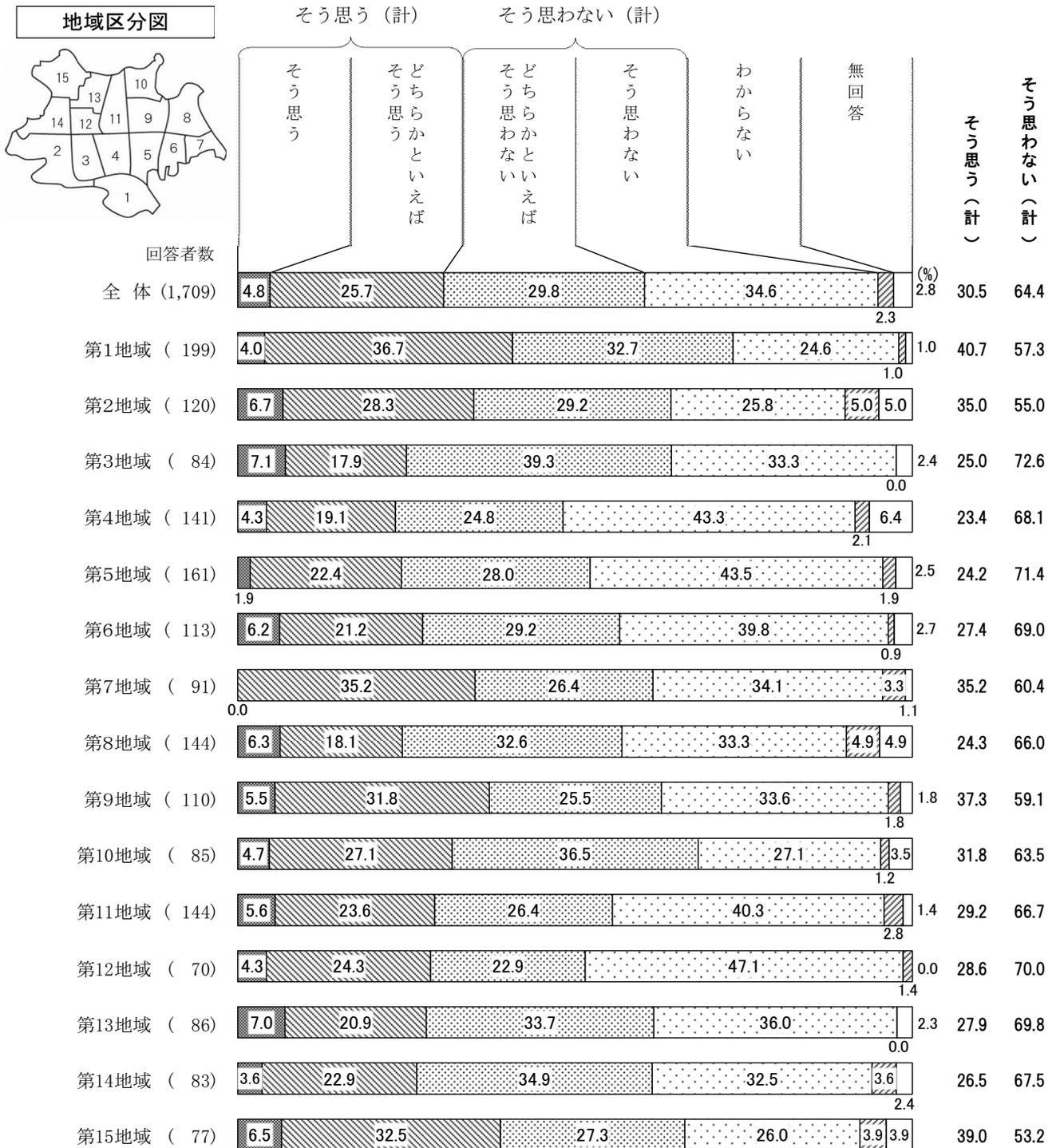
経年で比較すると、今回の調査では、新設項目を除く10項目すべてで【そう思う】が令和2年調査に比べて増加している。増加幅が大きい項目は、〈地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉（+5.7ポイント）、〈地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している〉（+3.5ポイント）、〈普段の買い物が便利である〉（+3.3ポイント）、〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉（+3.2ポイント）などとなっている。

次に、各項目について、地域別でみた。

〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉について、【そう思う】は第1地域で40.7%と最も高く、次いで第15地域が39.0%となっている。一方、【そう思わない】は第3地域で72.6%と最も高く、次いで第5地域が71.4%となっている。

図1-1-2-① 地域別／居住地域の評価

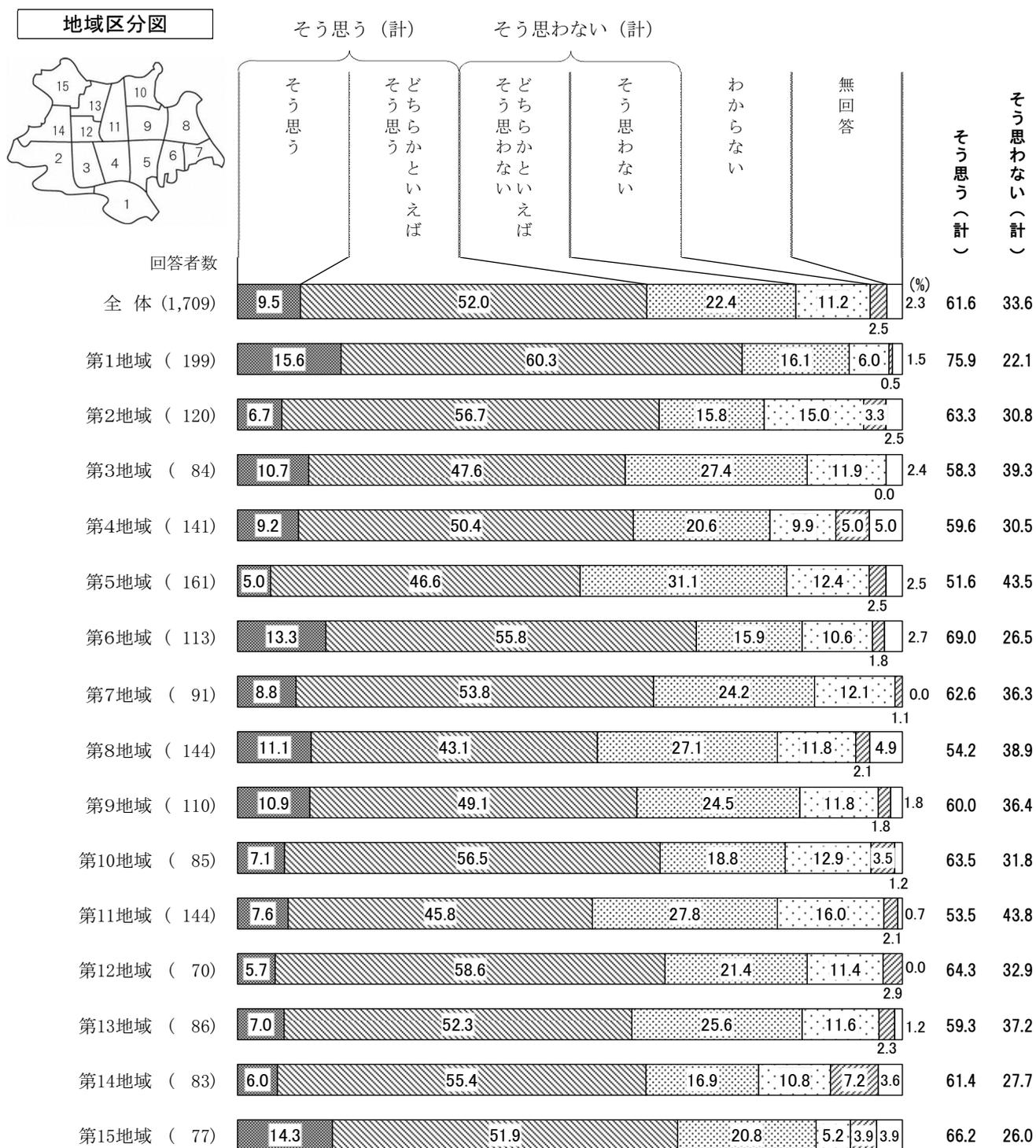
／自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

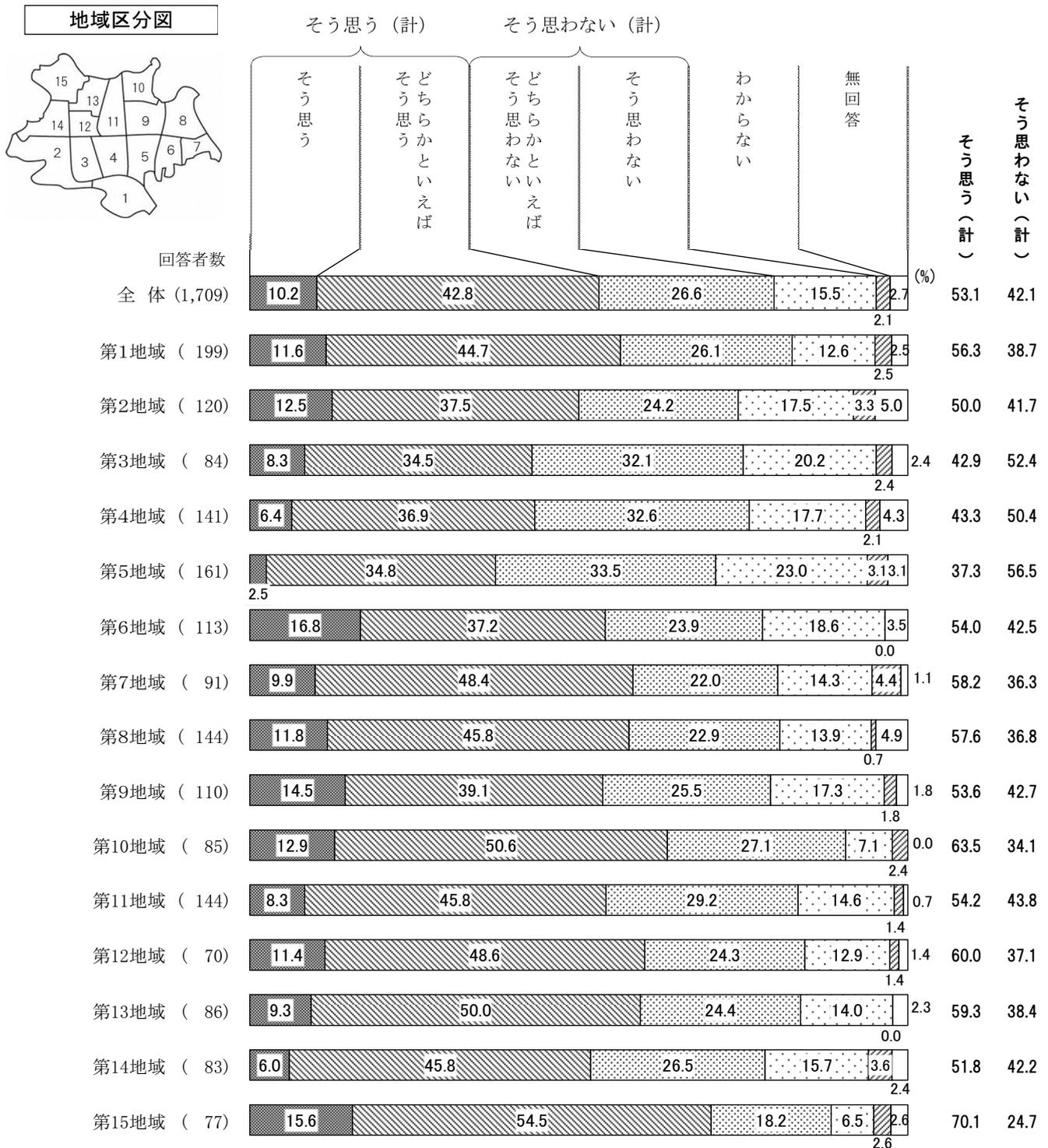
〈快適で安全なまちである〉について、【**そう思う**】は第1地域で75.9%と最も高く、次いで第6地域が69.0%となっている。一方、【**そう思わない**】は第11地域で43.8%と最も高く、次いで第5地域が43.5%となっている。

図1-1-2-② 地域別／居住地域の評価／快適で安全なまちである



〈景観・街並みが良好である〉について、【**そう思う**】は第15地域で70.1%と最も高く、次いで第10地域が63.5%、第12地域も60.0%と高くなっている。一方、【**そう思わない**】は第5地域で56.5%と最も高く、次いで第3地域が52.4%、第4地域も50.4%で高くなっている。

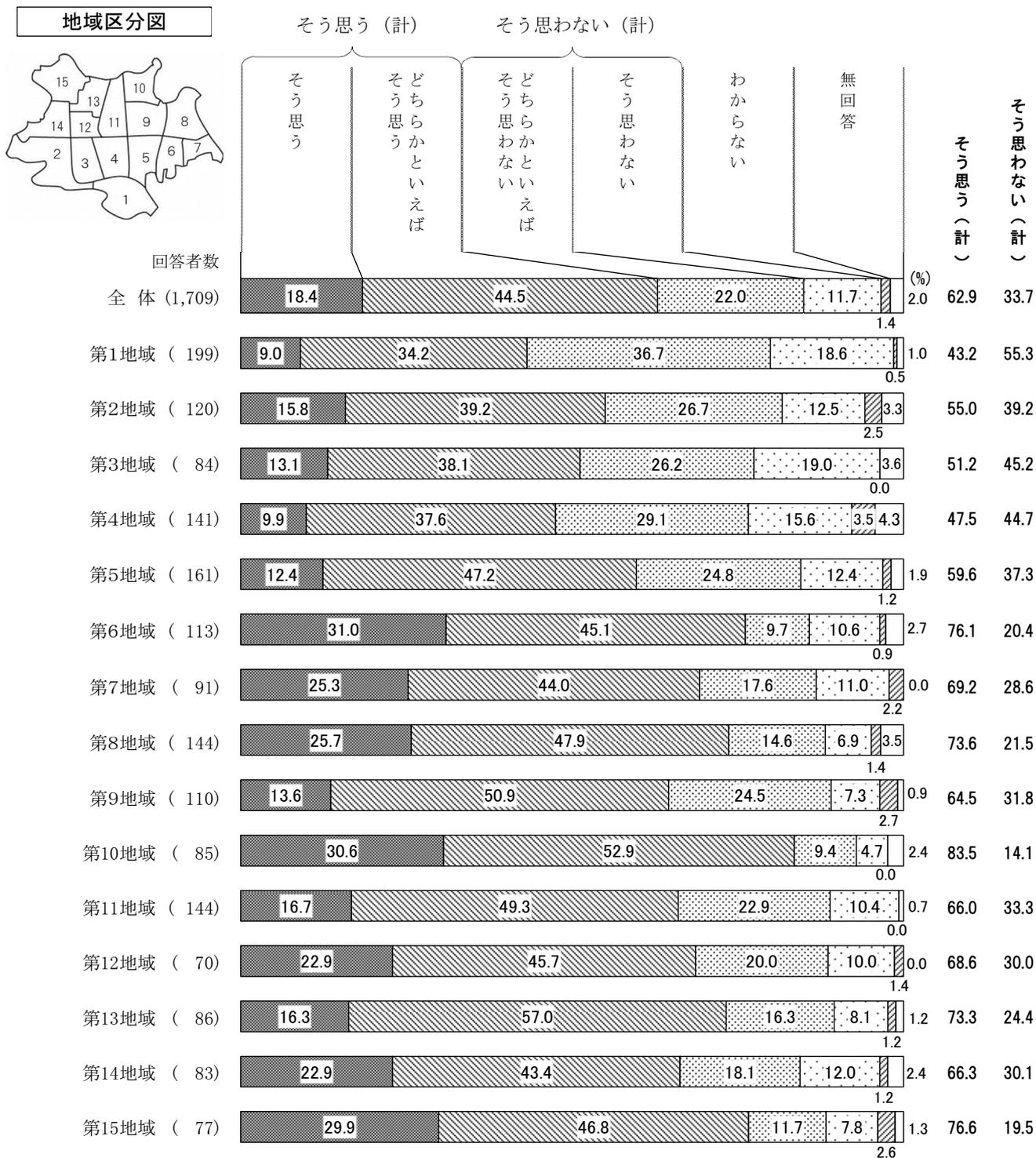
図1-1-2-③ 地域別／居住地域の評価／景観・街並みが良好である



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

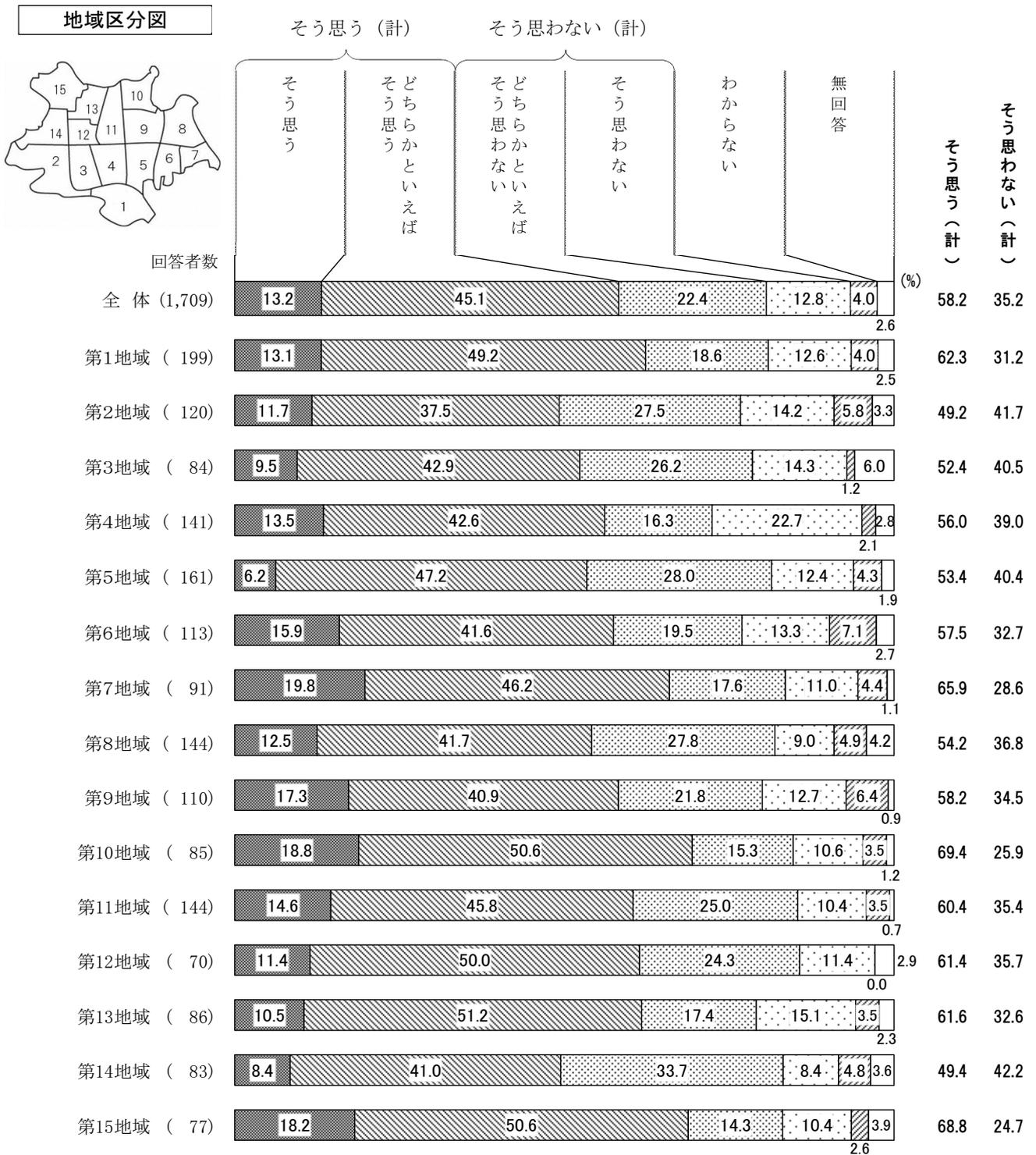
〈まちなかの花や緑が多い〉について、【そう思う】は第10地域が83.5%で最も高く、次いで第15地域が76.6%、僅差で第6地域が76.1%が続いている。一方、【そう思わない】は第1地域で55.3%と最も高く、次いで第3地域が45.2%となっている。

図1-1-2-④ 地域別／居住地域の評価／まちなかの花や緑が多い



〈ごみがなく地域がきれいになったと感じる〉について、【**そう思う**】は第10地域が69.4%と最も高く、次いで第15地域が68.8%となっている。一方、【**そう思わない**】は第14地域で42.2%と最も高く、次いで第2地域が41.7%となっている。

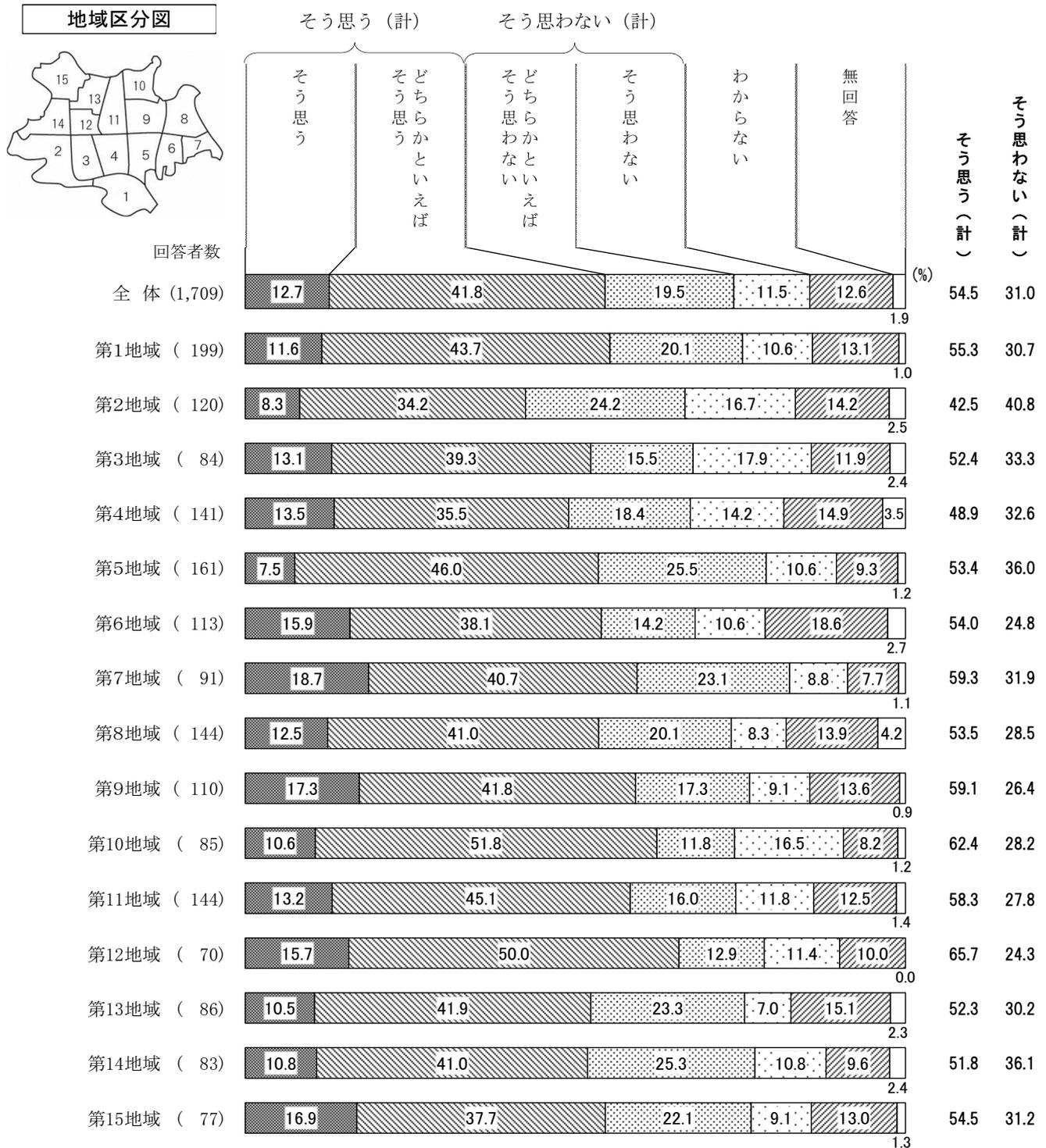
図1-1-2-⑤ 地域別／居住地域の評価／ごみがなく地域がきれいになったと感じる



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

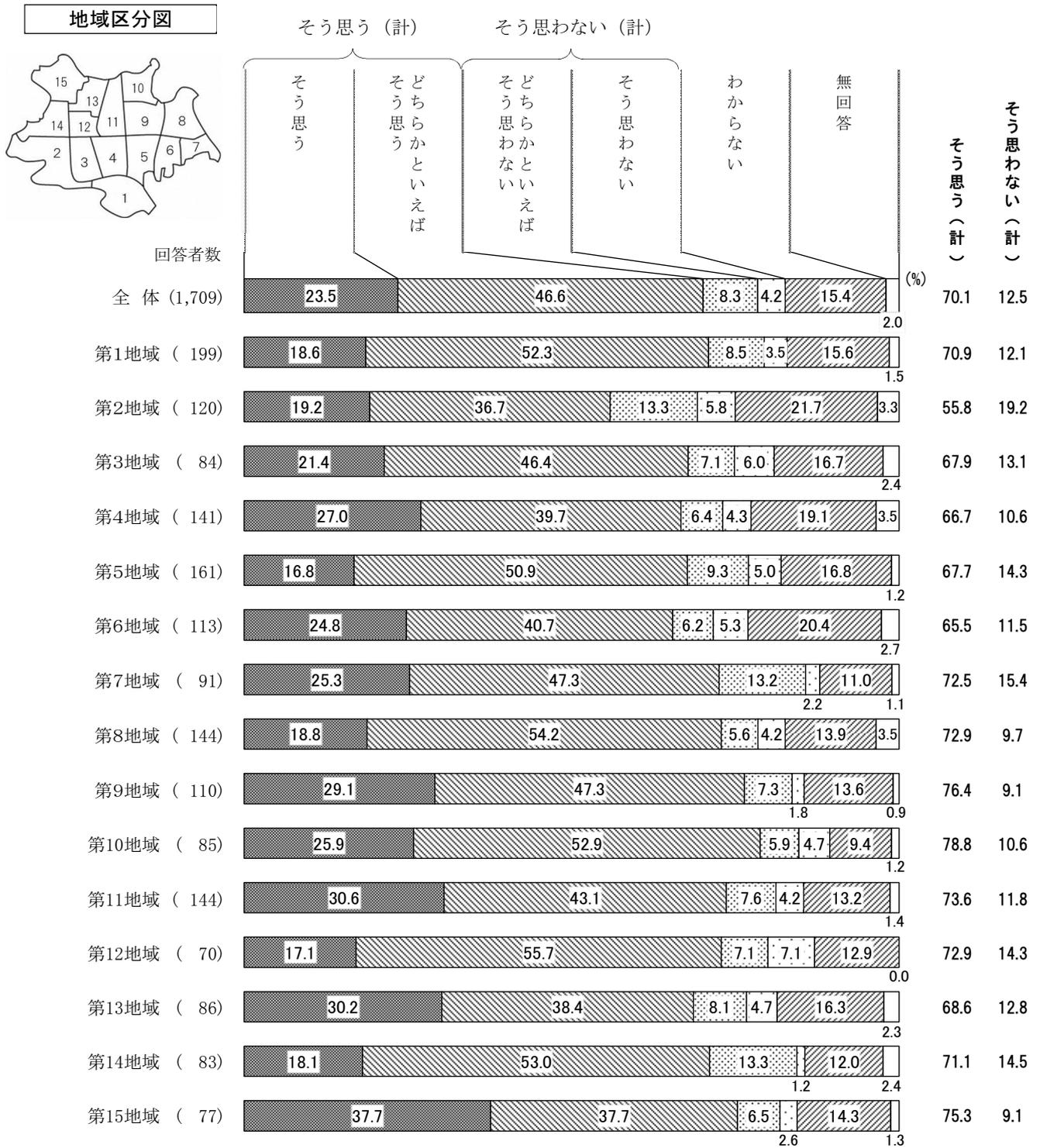
〈不法投棄が減少したと感じる〉について、【**そう思う**】は第12地域で65.7%と最も高く、次いで第10地域が62.4%となっている。一方、【**そう思わない**】は第2地域で40.8%と最も高く、次いで第14地域が36.1%、僅差で第5地域が36.0%で続いている。

図1-1-2-⑥ 地域別／居住地域の評価／不法投棄が減少したと感じる



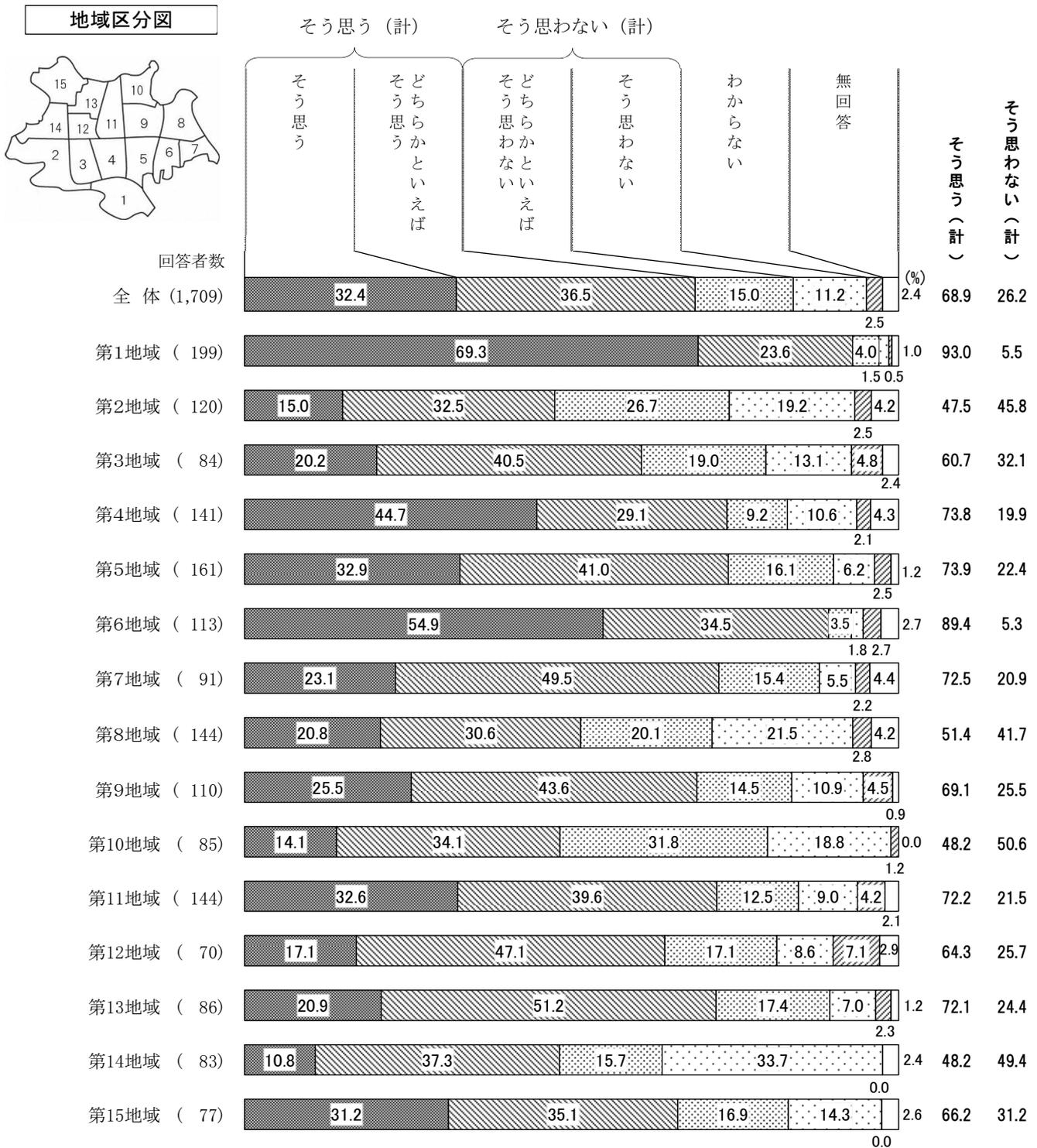
〈落書きが減少したと感じる〉について、【**そう思う**】は第10地域で78.8%と最も高く、次いで第9地域が76.4%となっている。一方、【**そう思わない**】は第2地域で19.2%と最も高く、次いで第7地域が15.4%となっている。

図1-1-2-⑦ 地域別／居住地域の評価／落書きが減少したと感じる



〈通勤や通学などの交通の便が良い〉について、【**そう思う**】は第1地域が93.0%と最も高く、次いで第6地域が89.4%で続き、この2地域で特に高くなっている。一方、【**そう思わない**】は第10地域で50.6%と最も高く、次いで第14地域が49.4%となっている。

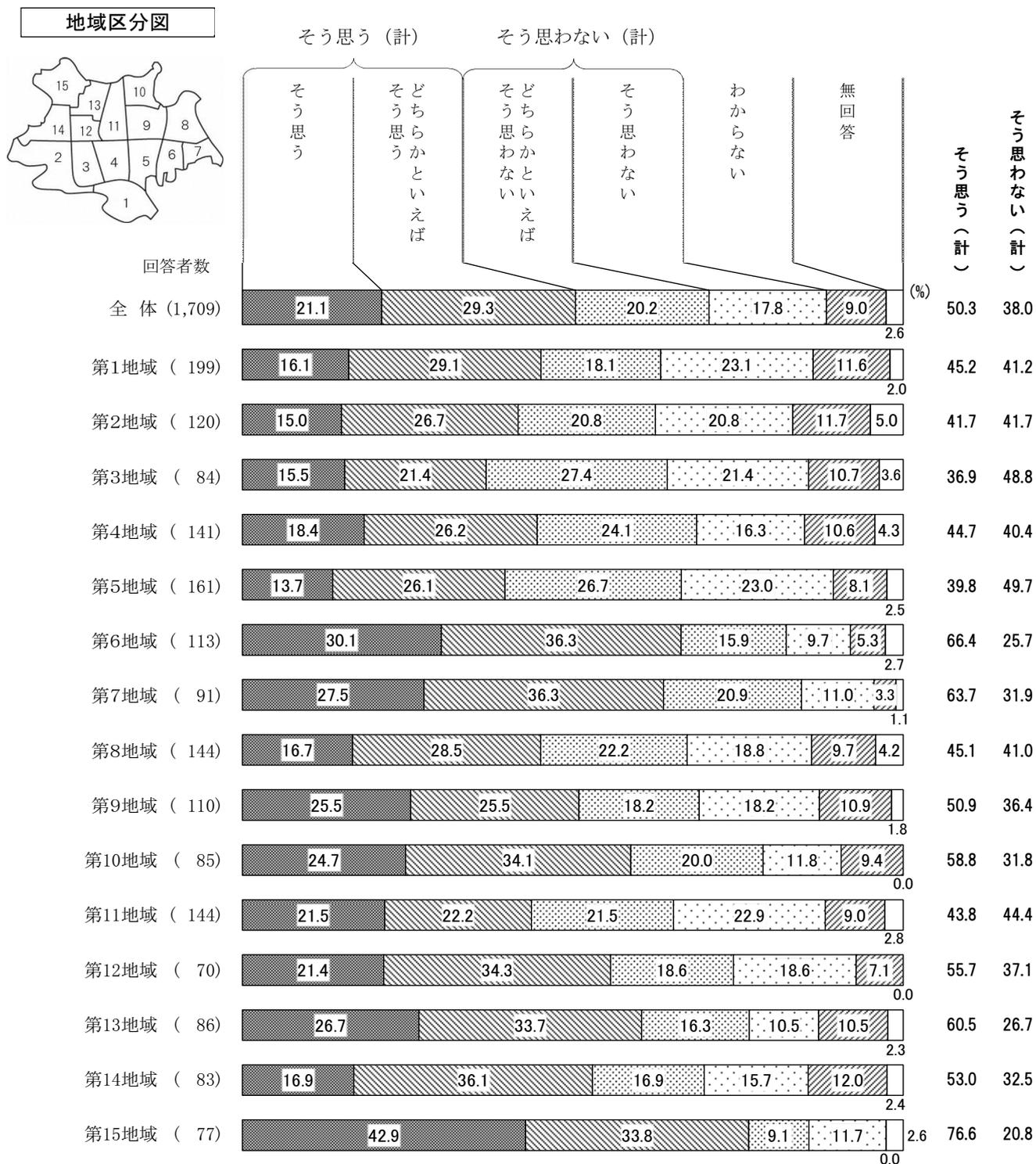
図1-1-2-⑨ 地域別／居住地域の評価／通勤や通学などの交通の便が良い



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈よく行く、または行きたい公園がある〉について、【**そう思う**】は第15地域で76.6%と最も高く、次いで第6地域で66.4%となっている。一方、【**そう思わない**】は第5地域で49.7%と最も高く、次いで第3地域で48.8%となっている。

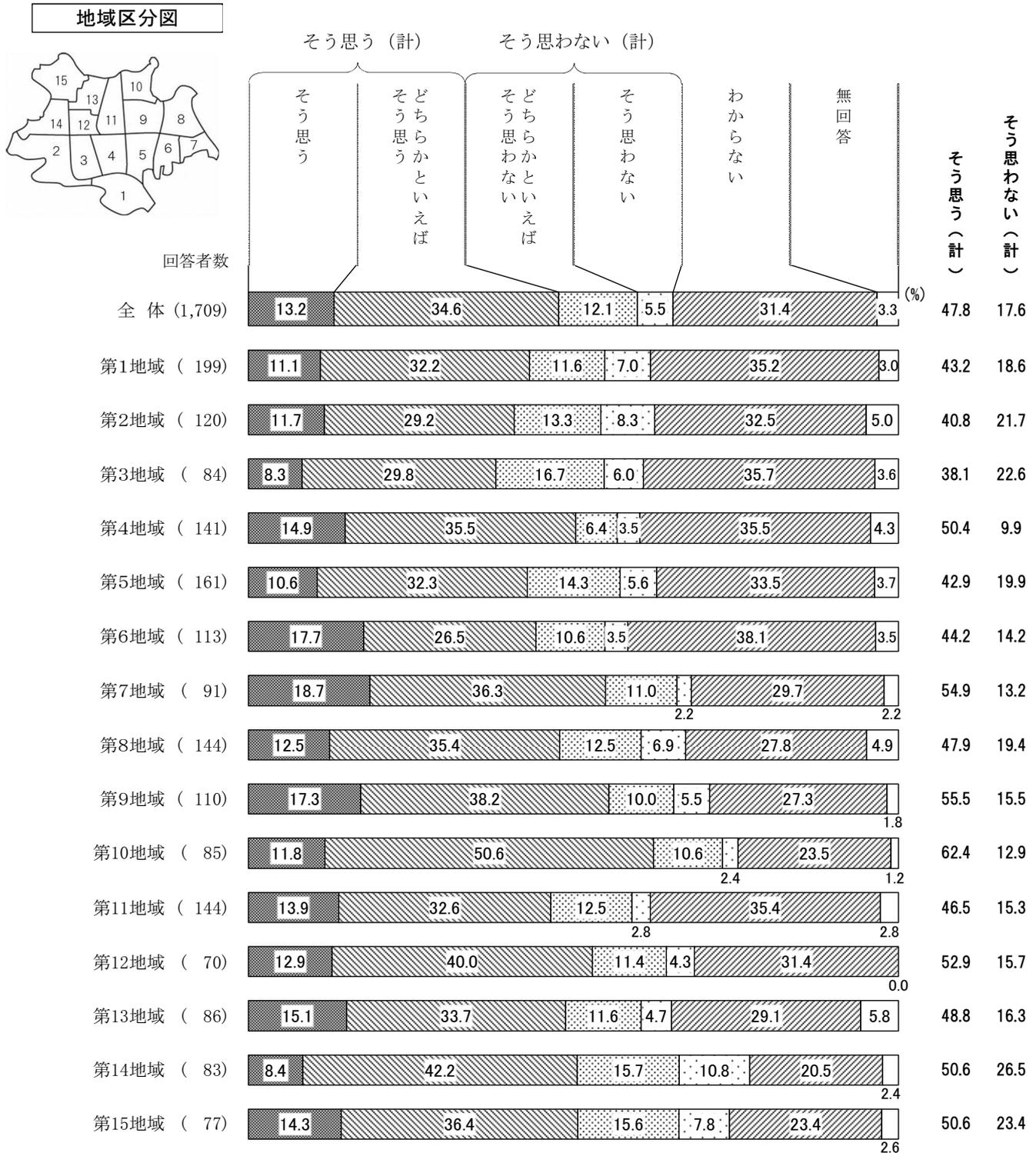
図1-1-2-⑩ 地域別／居住地域の評価／よく行く、または行きたい公園がある



〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉について、【**そう思う**】は第10地域で62.4%と最も高く、次いで第9地域が55.5%となっている。一方、【**そう思わない**】は第14地域で26.5%と最も高く、次いで第15地域で23.4%となっている。

図1-1-2-⑪ 地域別／居住地域の評価

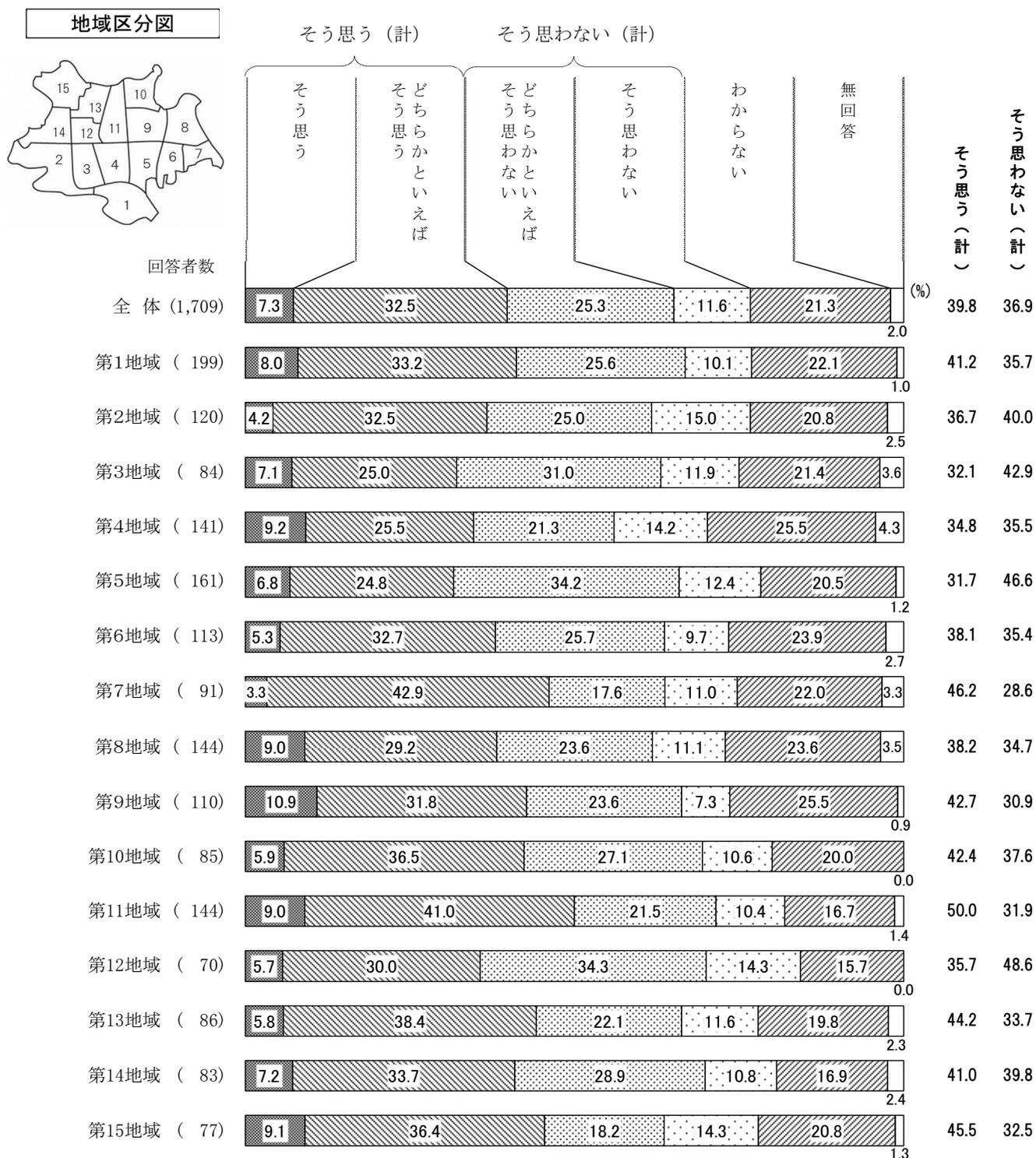
／子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

〈地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉について、【**そう思う**】は第11地域で50.0%と最も高く、次いで第7地域で46.2%となっている。一方、【**そう思わない**】は第12地域で48.6%と最も高く、次いで第5地域で46.6%となっている。

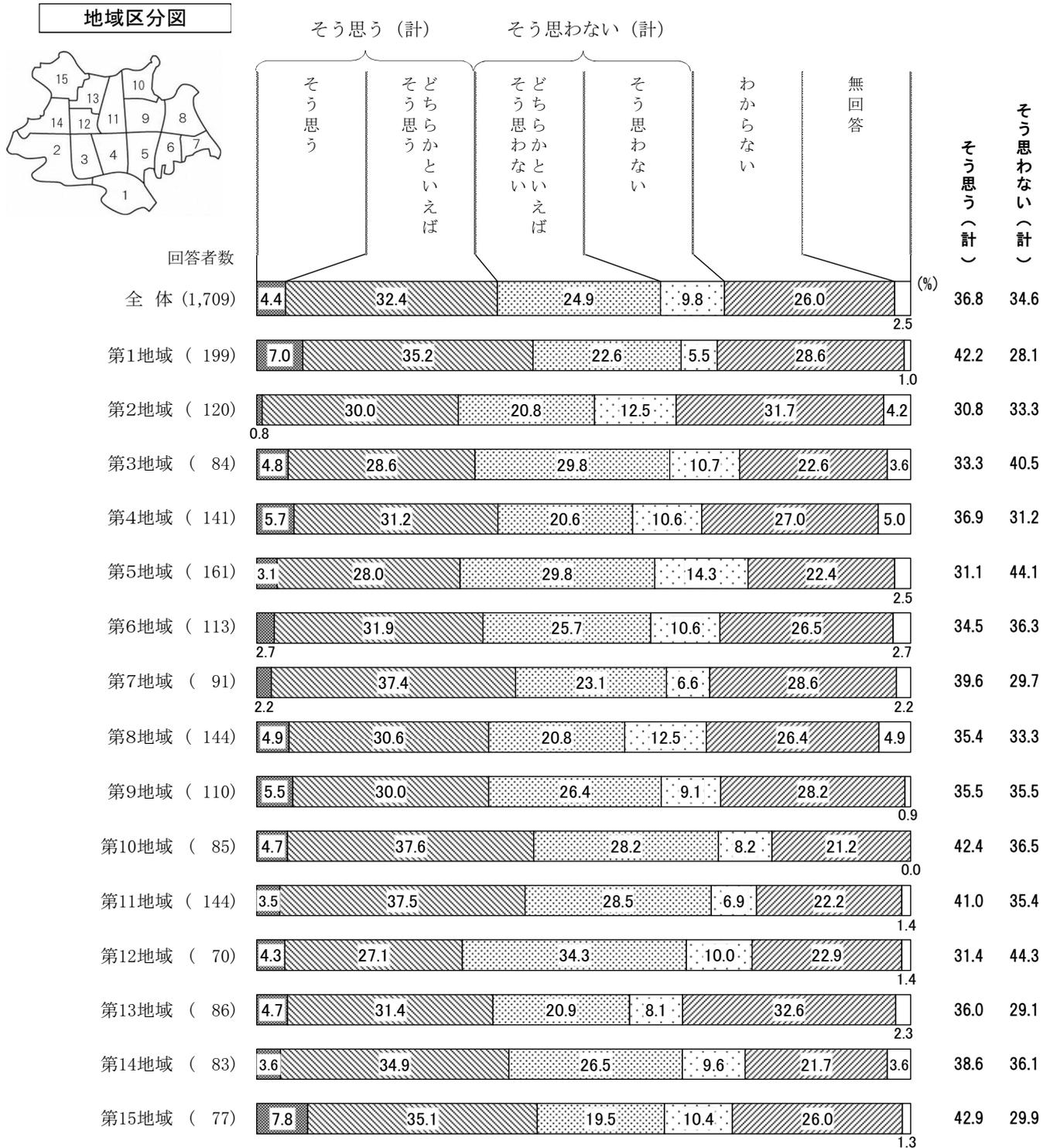
図1-1-2-⑫ 地域別／居住地域の評価／地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている



〈地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している〉について、【**そう思う**】は第15地域で42.9%と最も高く、次いで第10地域が42.4%、僅差で第1地域が42.2%が続いている。一方、【**そう思わない**】は第12地域で44.3%と最も高く、次いで第5地域で44.1%となっている。

図1-1-2-⑬ 地域別／居住地域の評価

／地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している

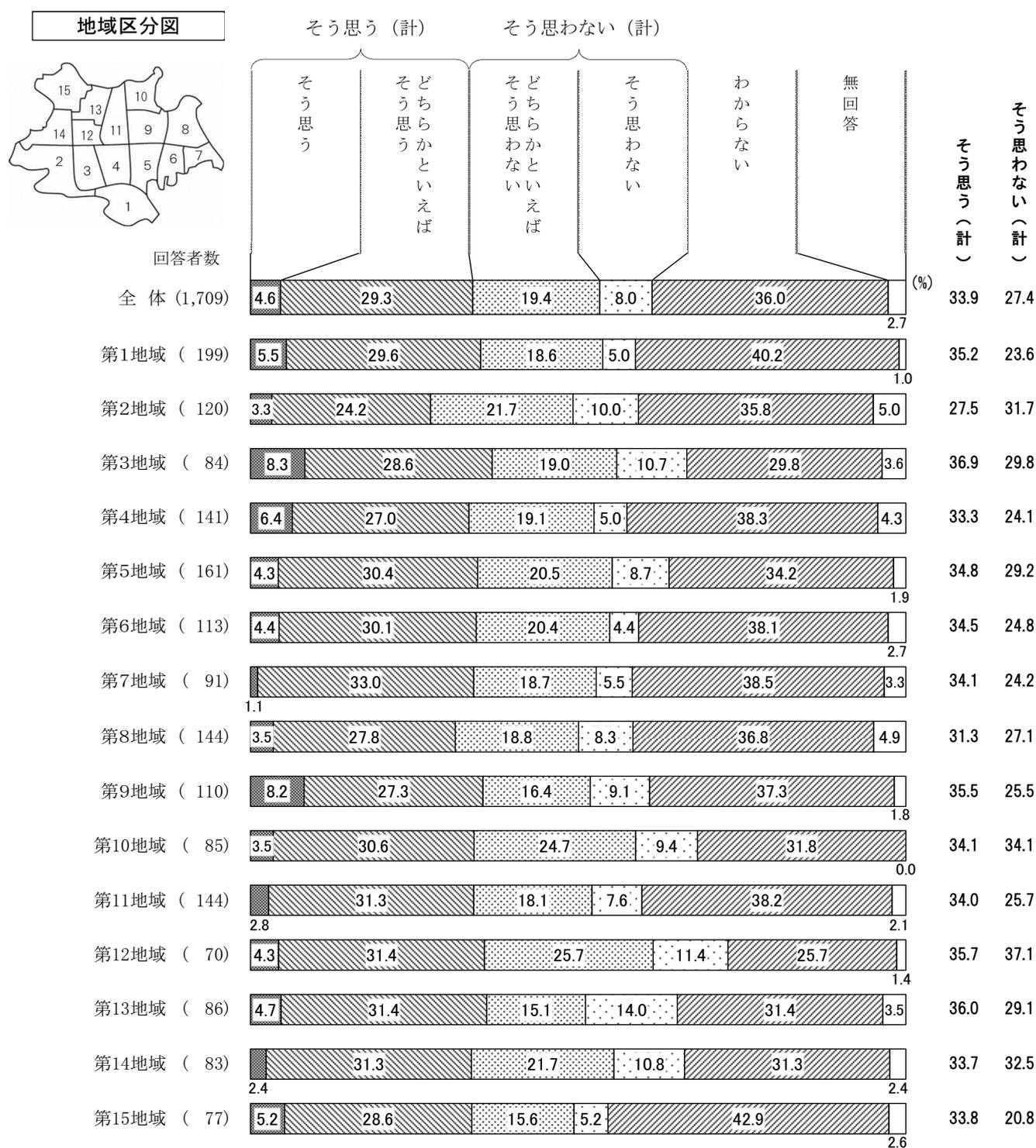


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉について、【そう思う】は第3地域で36.9%と最も高く、次いで第13地域が36.0%となっている。一方、【そう思わない】は第12地域で37.1%と最も高く、次いで第10地域が34.1%となっている。

図1-1-2-⑭ 地域別／居住地の評価

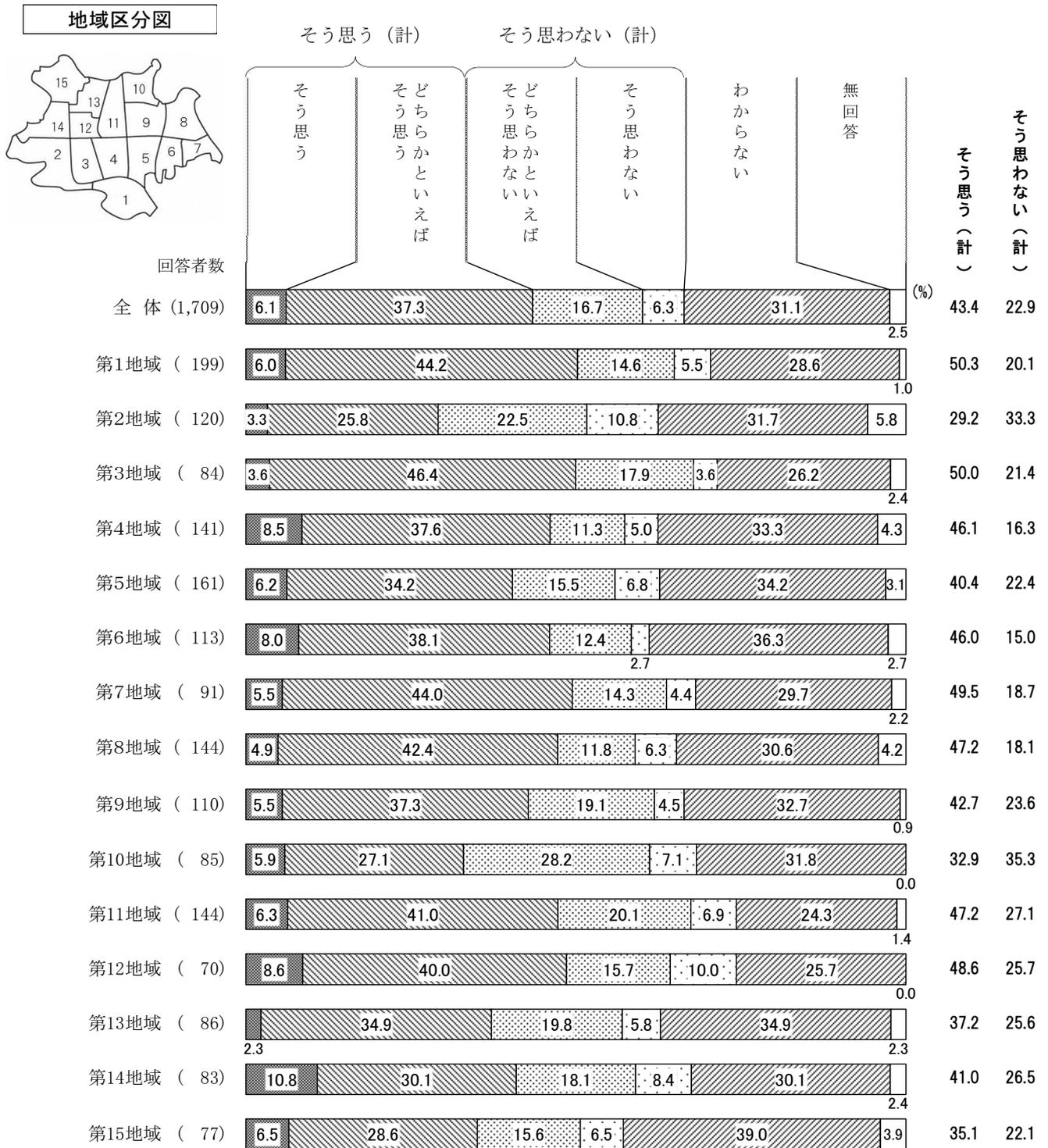
／男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている



〈国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである〉について、【**そう思う**】は第1地域で50.3%と最も高く、次いで第3地域が50.0%となっている。一方、【**そう思わない**】は第10地域で35.3%と最も高く、次いで第2地域が33.3%となっている。

図1-1-2-⑮ 地域別／居住地域の評価

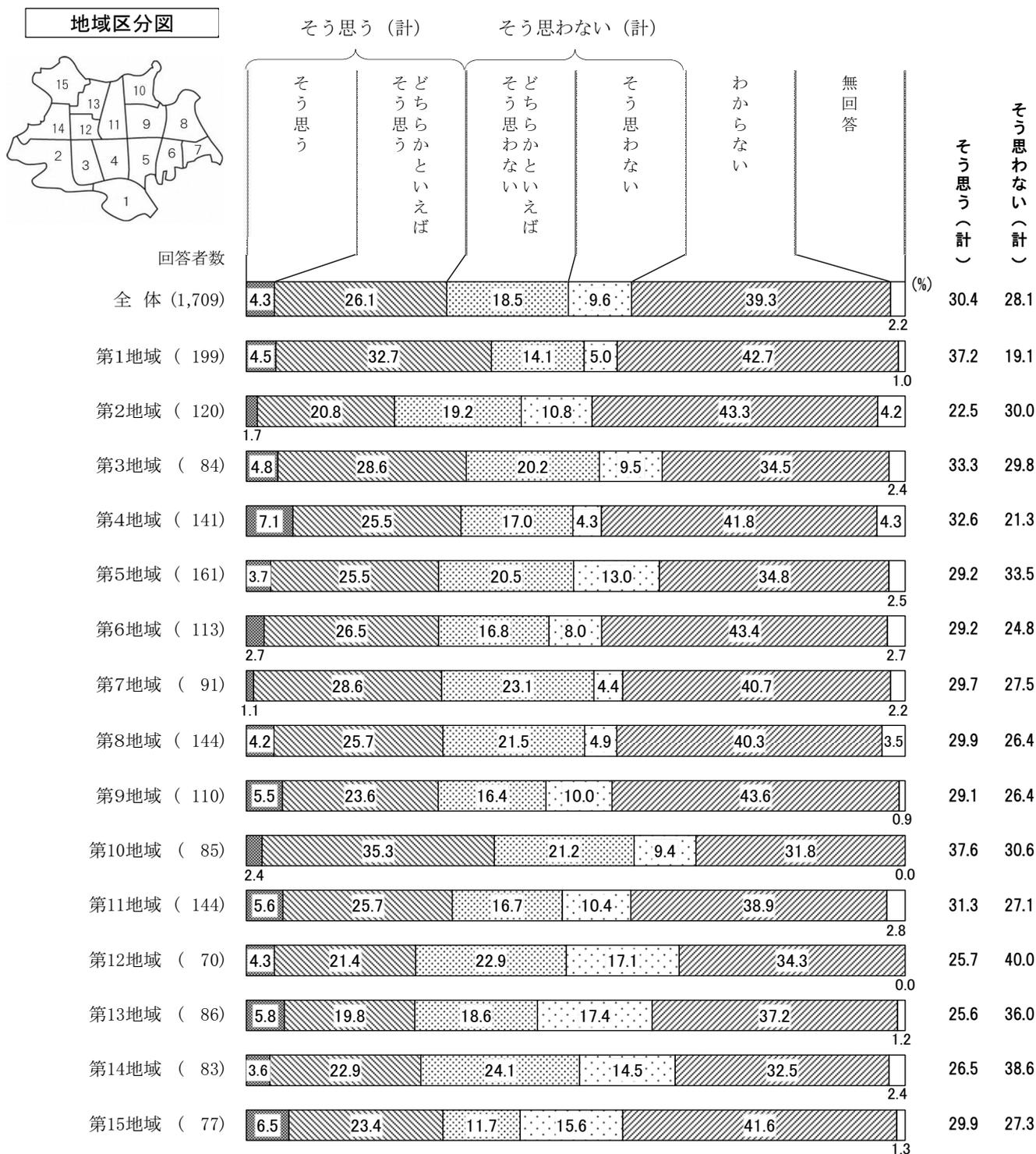
／国籍、文化などが異なる人々がともに暮らしやすいまちである



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈 人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない〉について、【**そう思う**】は第10地域で37.6%と最も高く、次いで第1地域が37.2%となっている。一方、【**そう思わない**】は第12地域で40.0%と最も高く、次いで第14地域が38.6%となっている。

図1-1-2-⑯ 地域別／居住地域の評価／人権課題である「障がい者」「子ども」「女性」「インターネットによる人権侵害」について、偏見や差別がない



(2) 地域の暮らしやすさ

■【暮らしやすい】はここ7年増加傾向を続け、平成22年調査に次ぐ8割台半ばと高い割合

問2 問1を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じていますか（〇は1つだけ）。

図1-2-1-① 経年比較/地域の暮らしやすさ

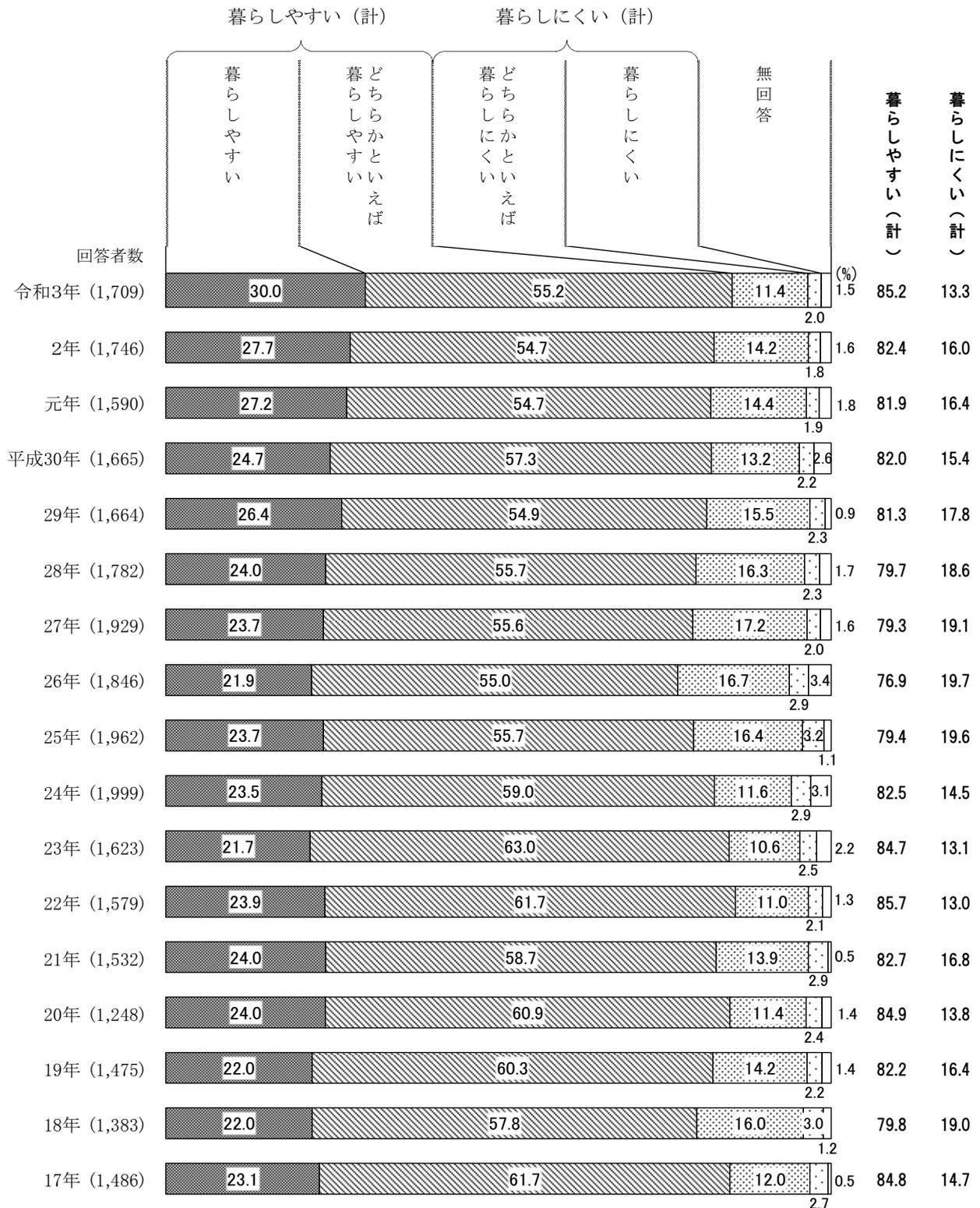
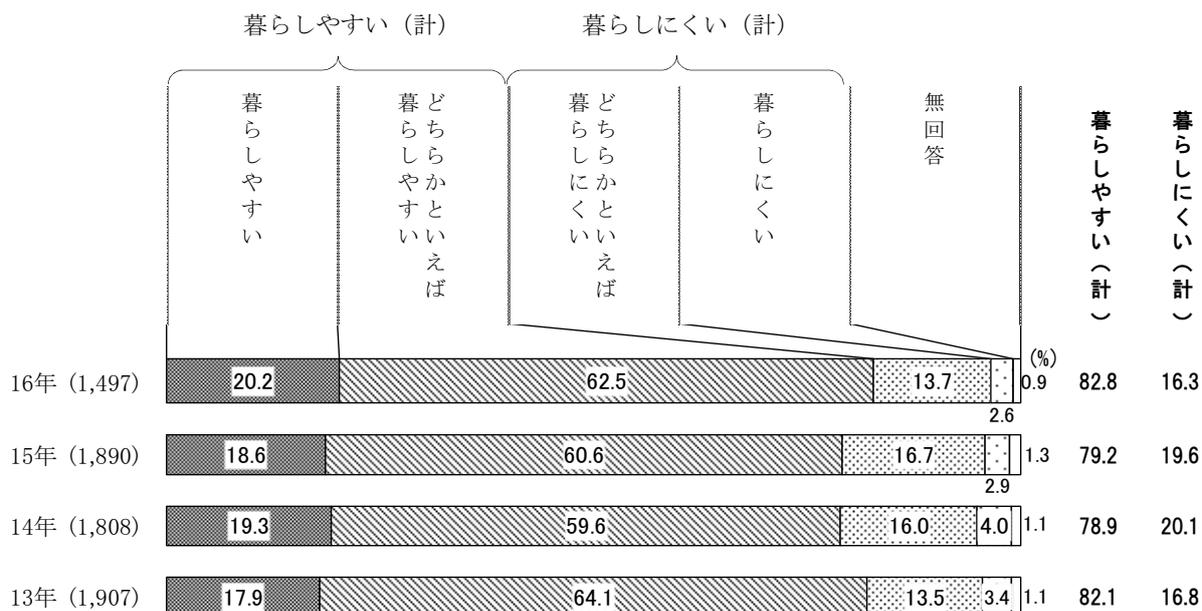


図1-2-1-② 経年比較／地域の暮らしやすさ

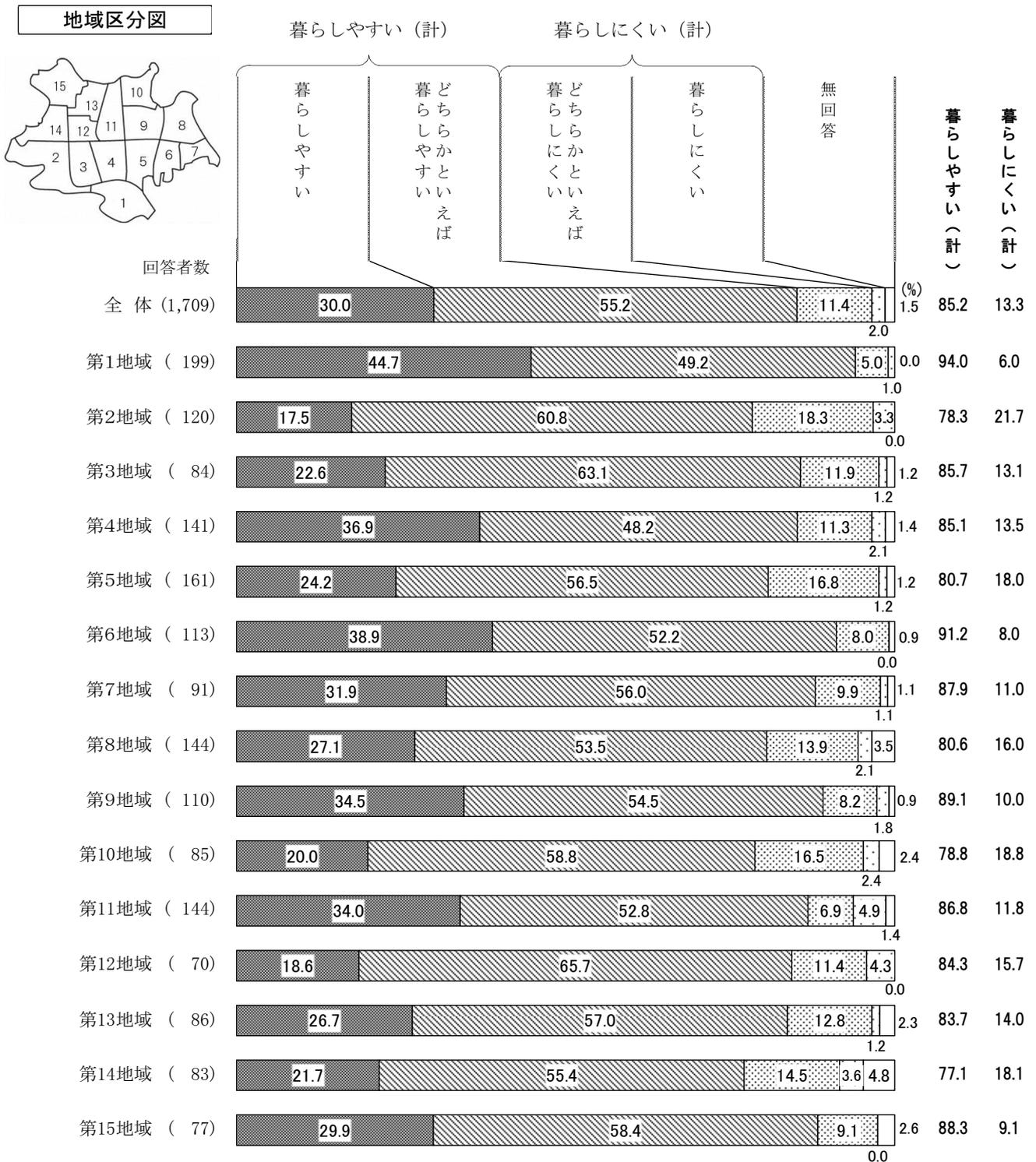


地域の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」は30.0%で、「どちらかといえば暮らしやすい」(55.2%)を合わせた【暮らしやすい】は8割台半ばを占めている。一方、「暮らしにくい」は2.0%で、「どちらかといえば暮らしにくい」(11.4%)を合わせた【暮らしにくい】は1割台半ばとなっている。

経年でみると、【暮らしやすい】は、平成22年の85.7%を頂点として平成26年調査(76.9%)まで漸減傾向にあったが、平成27年調査から増加に転じ、それ以降は概ね増加傾向を続け、前回の令和2年調査(82.4%)から2.8ポイント増加の85.2%まで戻し、平成22年調査に次ぐ高い割合となった。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」を合わせた【暮らしにくい】は、今回の調査では13.3%と、前回の令和2年調査(16.0%)に比べて2.7ポイント減少し、平成26年調査(19.7%)以降はおおむね減少傾向となっている。

地域別でみると、【暮らしやすい】は第1地域で94.0%と最も高く、次いで第6地域（91.2%）が9割強で続いている。一方、【暮らしにくい】は第2地域（21.7%）が2割強で最も高く、次いで第10地域（18.8%）と第14地域（18.1%）がともに2割弱で続いている。

図1-2-2 地域別／地域の暮らしやすさ

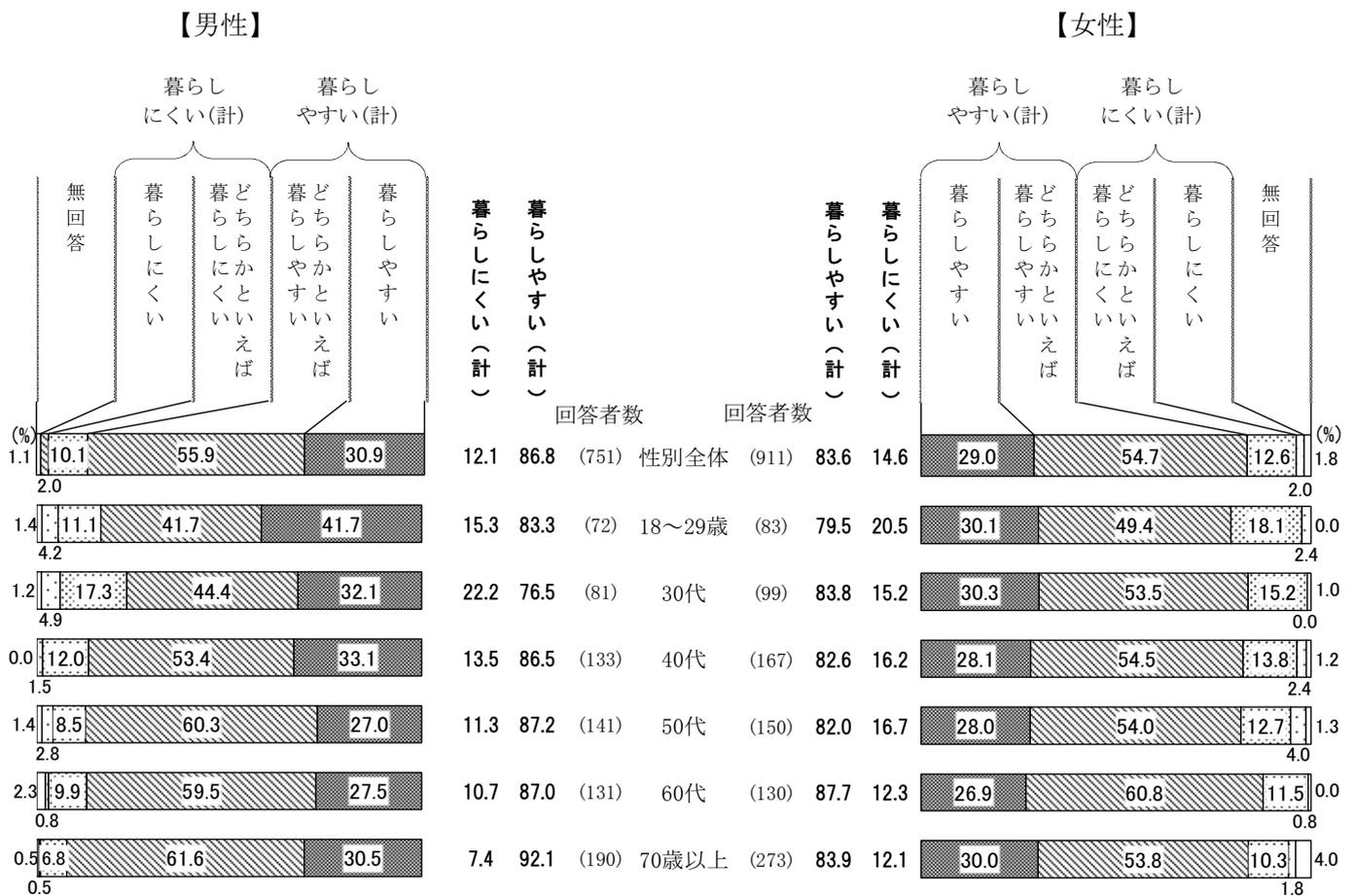


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

性別でみると【暮らしやすい】は、男性（86.8%）の方が女性（83.6%）より3.2ポイント高くなっている。

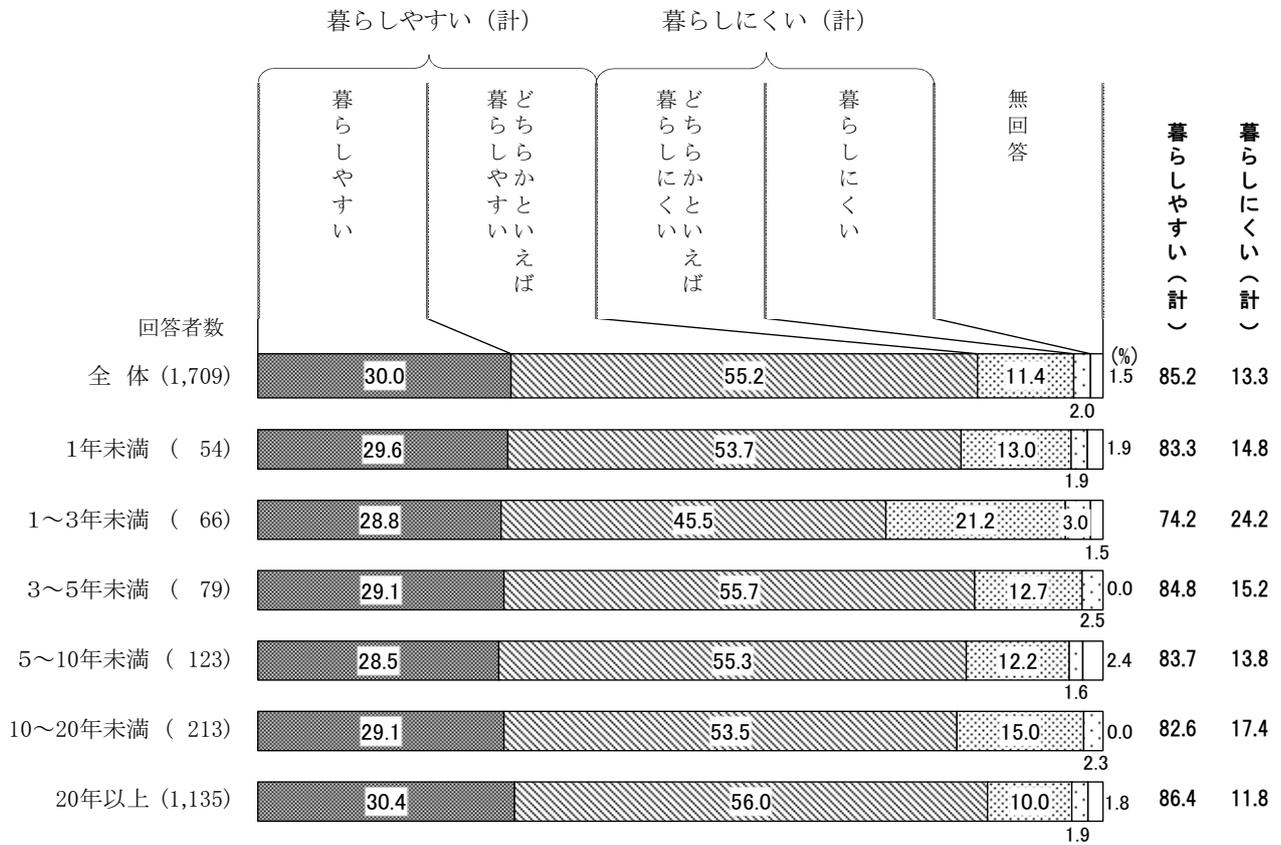
性・年代別でみると、男性では、【暮らしやすい】は70歳以上で92.1%と最も高く、【暮らしにくい】は30代で22.2%と最も高くなっている。女性では、【暮らしやすい】は60代で87.7%と最も高く、【暮らしにくい】は18～29歳で20.5%と最も高くなっている。

図1-2-3 性別、性・年代別／地域の暮らしやすさ



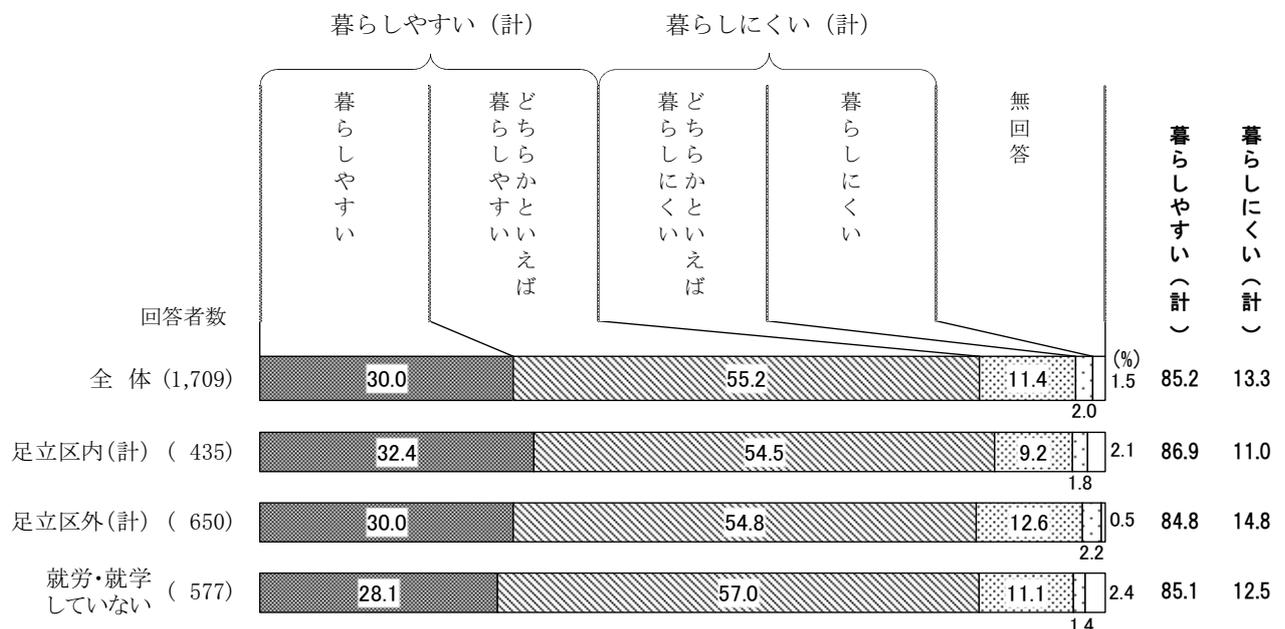
居住年数別でみると、【暮らしやすい】は「20年以上」で86.4%と最も高く、【暮らしにくい】は「1～3年未満」で24.2%と最も高くなっている。

図1-2-4 居住年数別／地域の暮らしやすさ



就労・就学場所別にみると、特に大きな違いはみられないものの、【暮らしにくい】は「足立区内 (計)」(11.0%)で低くなっている。

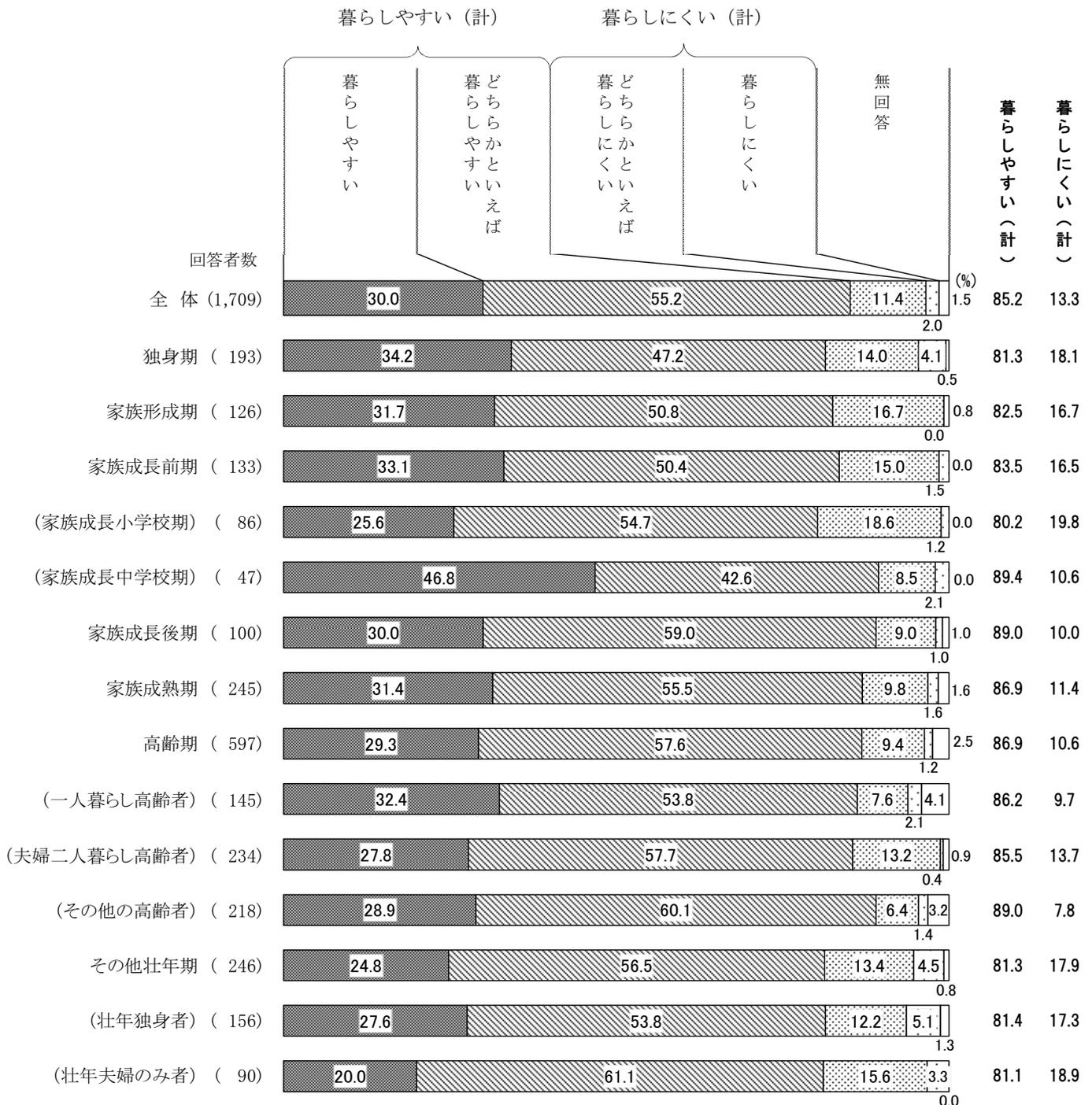
図1-2-5 就労・就学場所別／地域の暮らしやすさ



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

ライフステージ別でみると、【暮らしやすい】はいずれのステージでも8割台と大きな違いはみられないが、詳細区分でみると〈(家族成長中学校期)〉(89.4%)、〈(家族成長後期)〉(89.0%)、〈(その他の高齢者)〉(89.0%)、で約9割と高く、【暮らしにくい】は〈(家族成長小学校期)〉(19.8%)が約2割で最も高くなっている。

図1-2-6 ライフステージ別/地域の暮らしやすさ



(3) 特に暮らしにくいと感じること

■ “マナーやルールへの意識の低さ”が4割台半ばを超えて2年連続で最も高い

問2で「3 どちらかといえば暮らしにくい」、または「4 暮らしにくい」とお答えの方に
問2-1 特に暮らしにくいと感じることは何ですか（〇は3つまで）。

図1-3-1-① 経年比較／特に暮らしにくいと感じること

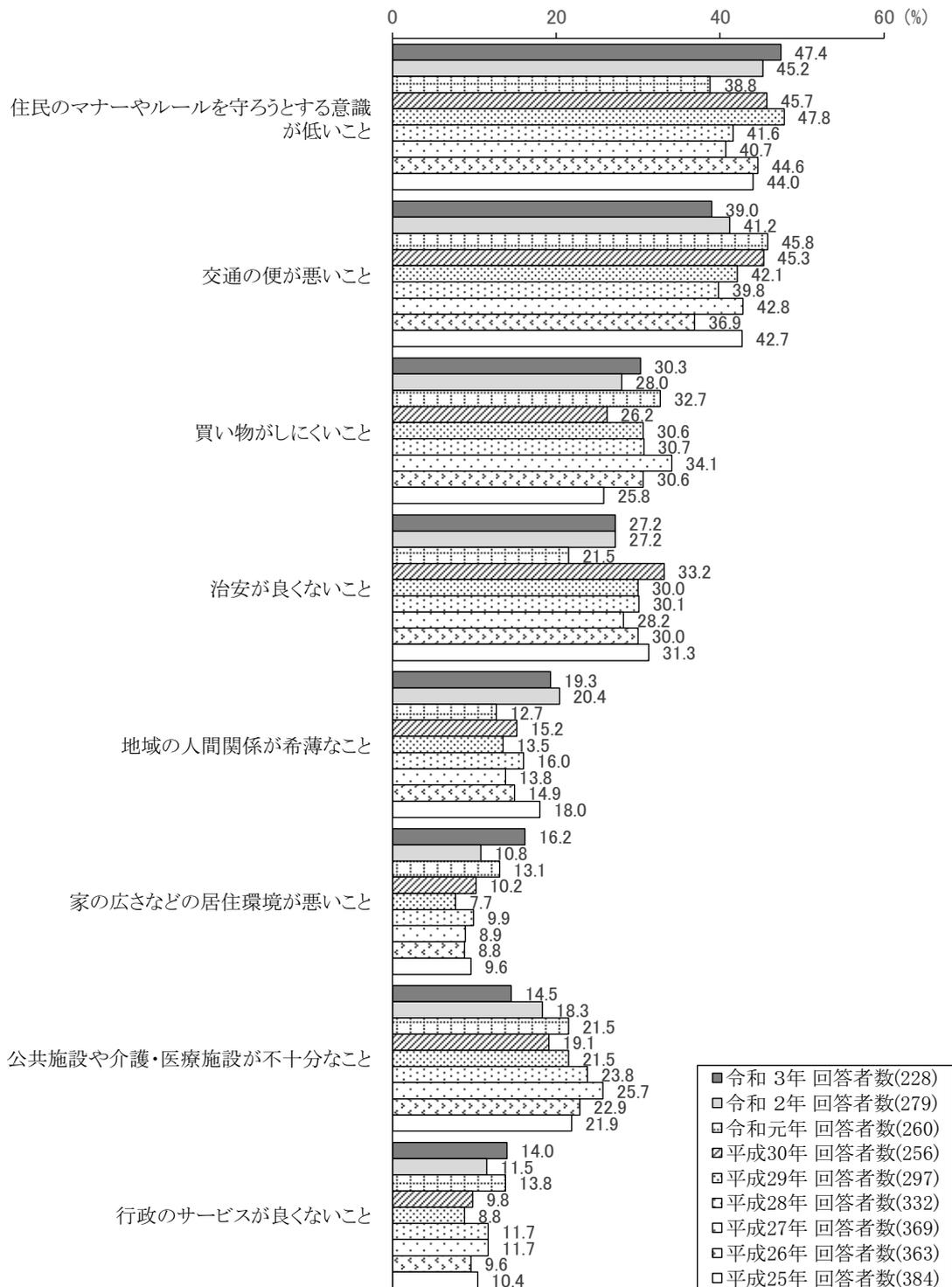
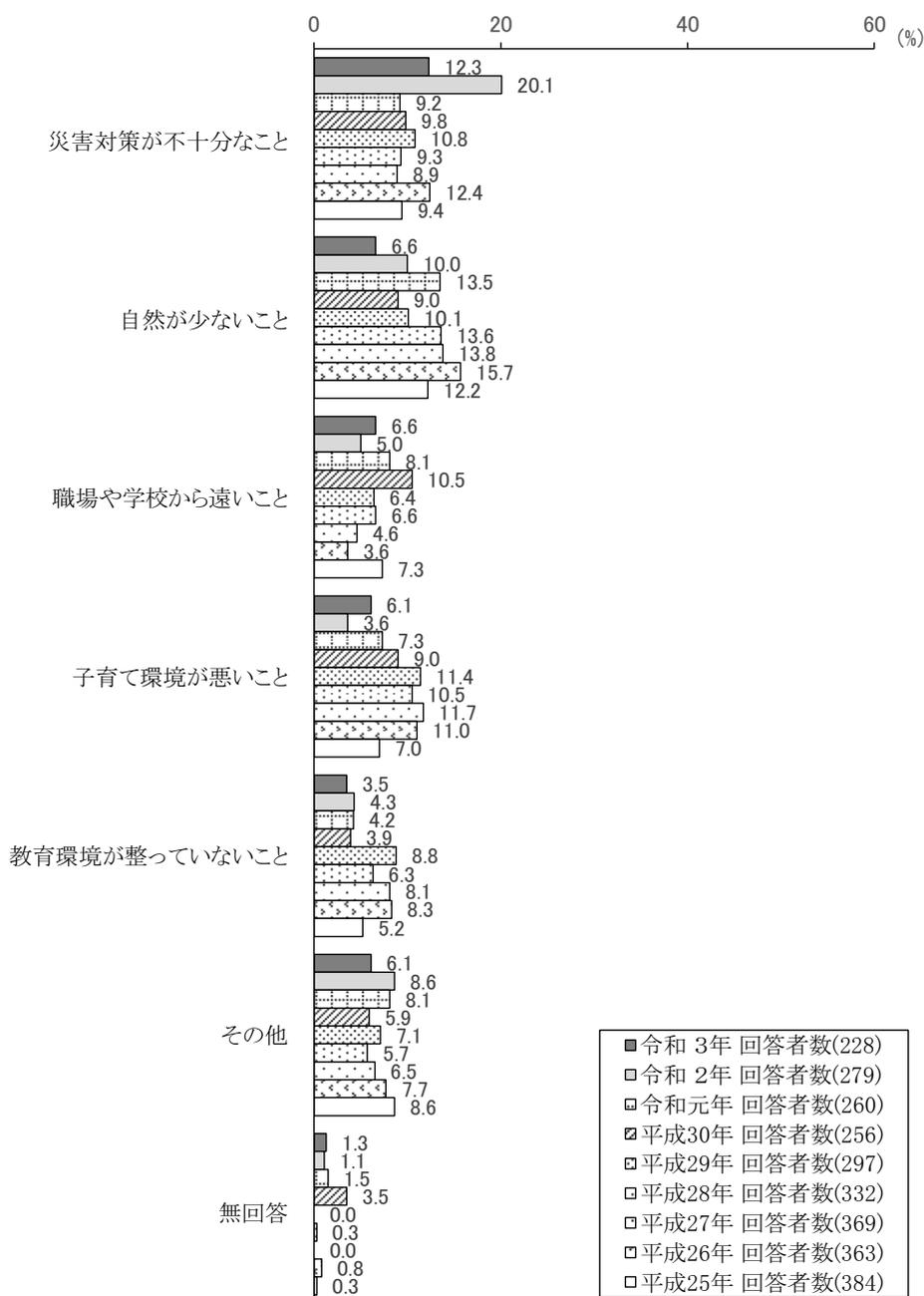


図1-3-1-② 経年比較／特に暮らしにくいと感じること

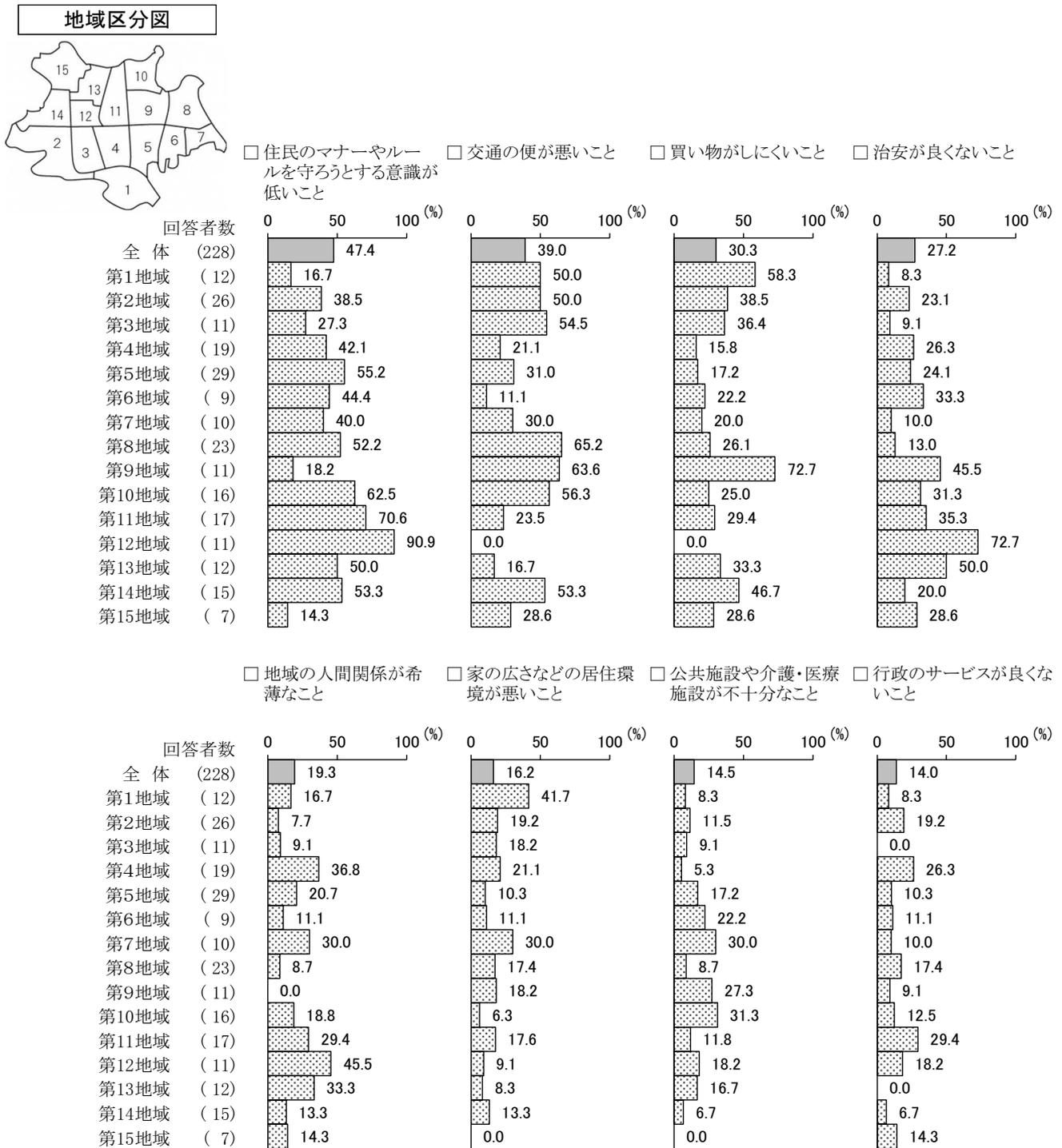


【暮らしにくい】という人に、その理由を聞いたところ、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」が47.4%と最も高く、次いで「交通の便が悪いこと」が39.0%で続き、「買い物がしにくいこと」が30.3%と続いている。

上位10項目について経年でみると、令和2年調査に比べて増加は、「家の広さなどの居住環境が悪いこと」(+5.4ポイント)、「行政のサービスが良くないこと」(+2.5ポイント)、「買い物がしにくいこと」(+2.3ポイント)、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」(+2.2ポイント)などで、逆に減少は、「災害対策が不十分なこと」(-7.8ポイント)、「公共施設や介護・医療施設が不十分なこと」(-3.8ポイント)、「交通の便が悪いこと」(-2.2ポイント)などとなっている。

地域別でみると、すべての地域の回答者数が30未満となっていることから参考値にとどめる必要があるが、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」は第12地域（90.9%）、「買い物がしにくいこと」は第9地域（72.7%）、「治安が良くないこと」は第12地域（72.7%）で他の地域に比べて高くなっている。

図1-3-2 地域別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目

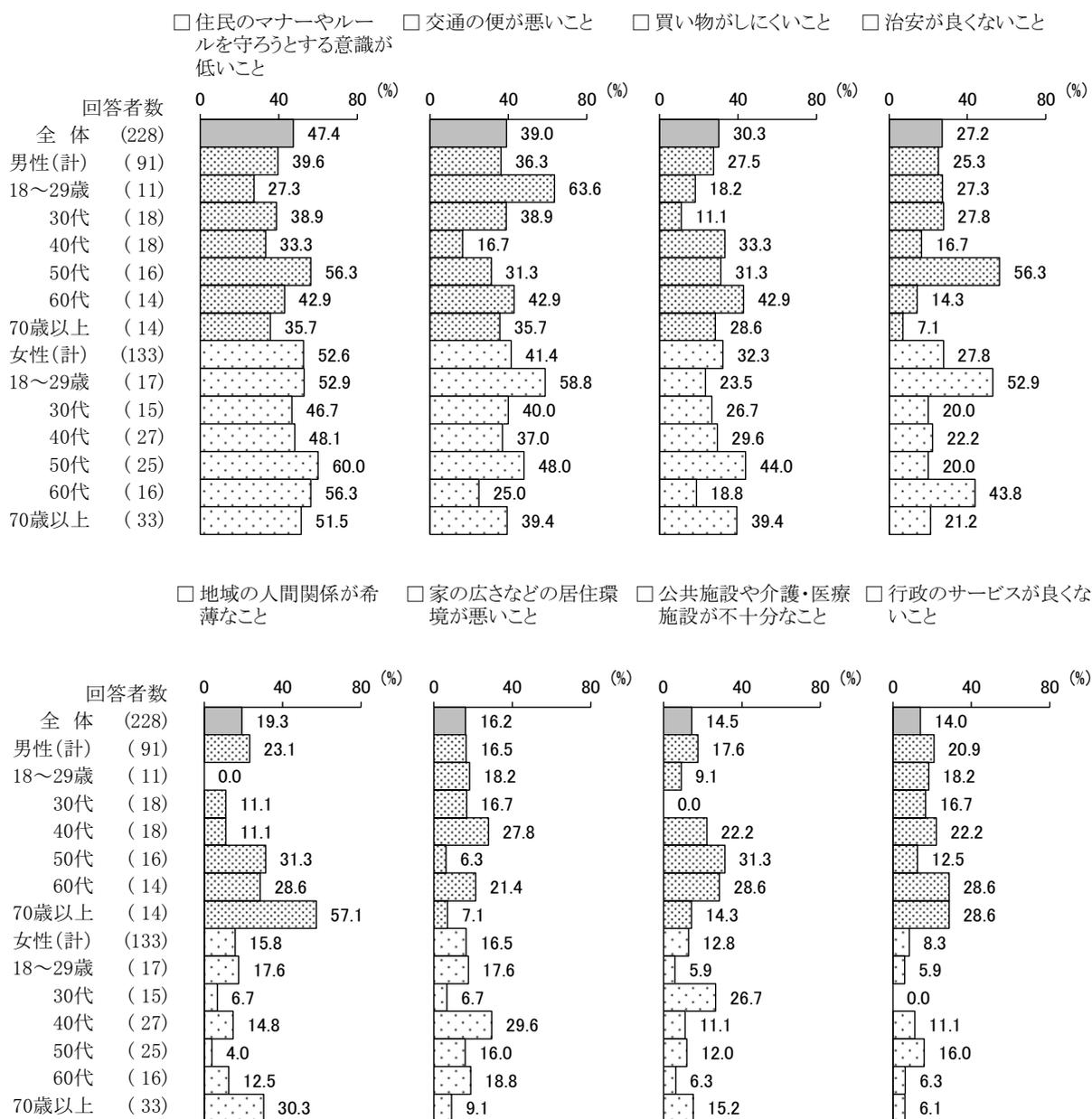


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

性別でみると、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」は女性の方が男性より13.0ポイント高く、「交通の便が悪いこと」でも女性の方が男性より5.1ポイント高くなっている。一方、「行政のサービスが良くないこと」は男性の方が女性より12.6ポイント高く、「地域の人間関係が希薄なこと」でも男性の方が女性より7.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、サンプル数が少ない層が多いことからあくまで参考値ながら、回答割合の高い上位2項目についてみると、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」は男女とも50代で高く、「交通の便が悪いこと」は男女とも18～29歳で高くなっている。

図1-3-3 性別、性・年代別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目



(4) 定住意向

■【定住意向】は、現行の選択肢になって以降初めて8割台

問3 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（○は1つだけ）。

図1-4-1-① 経年比較/定住意向

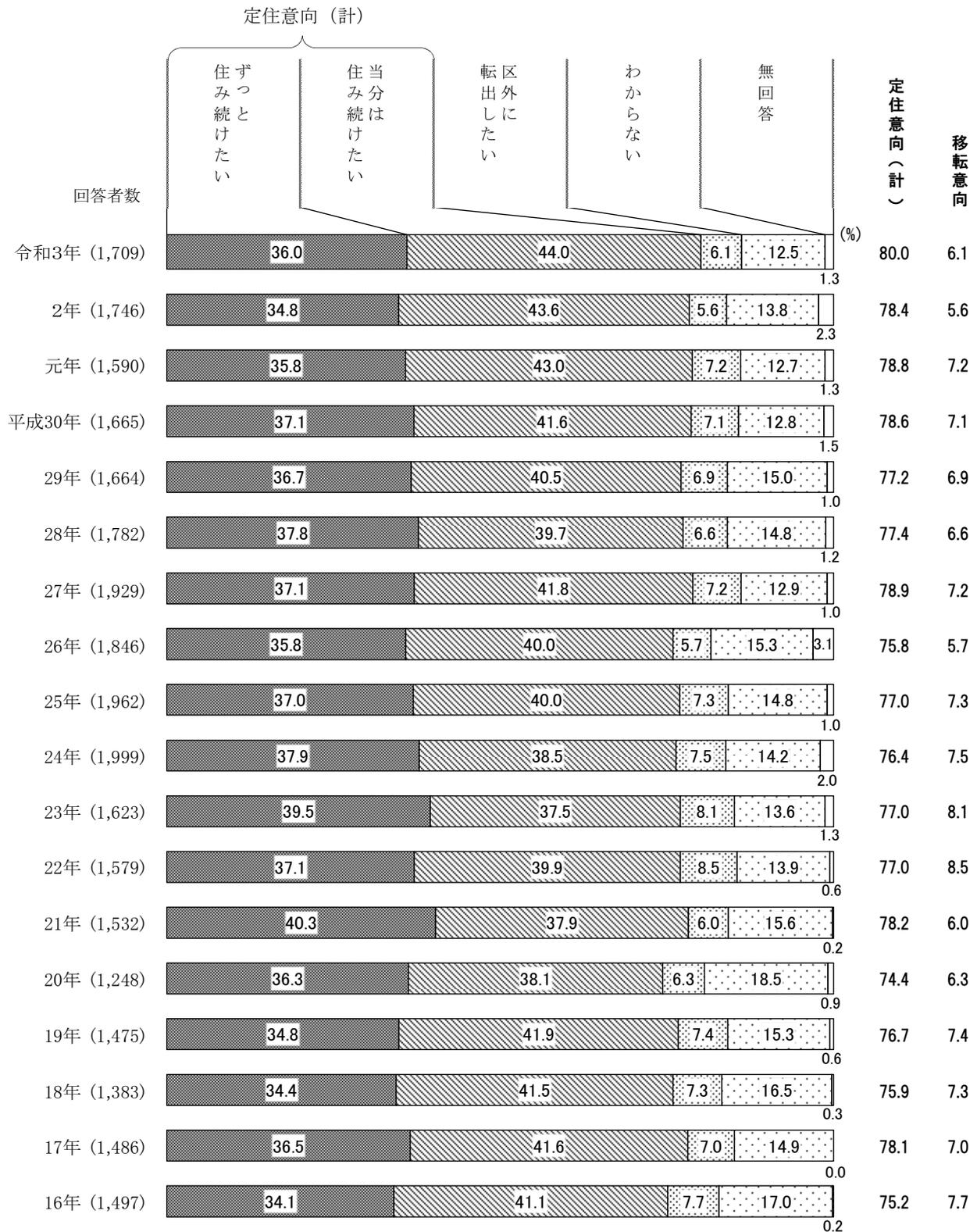
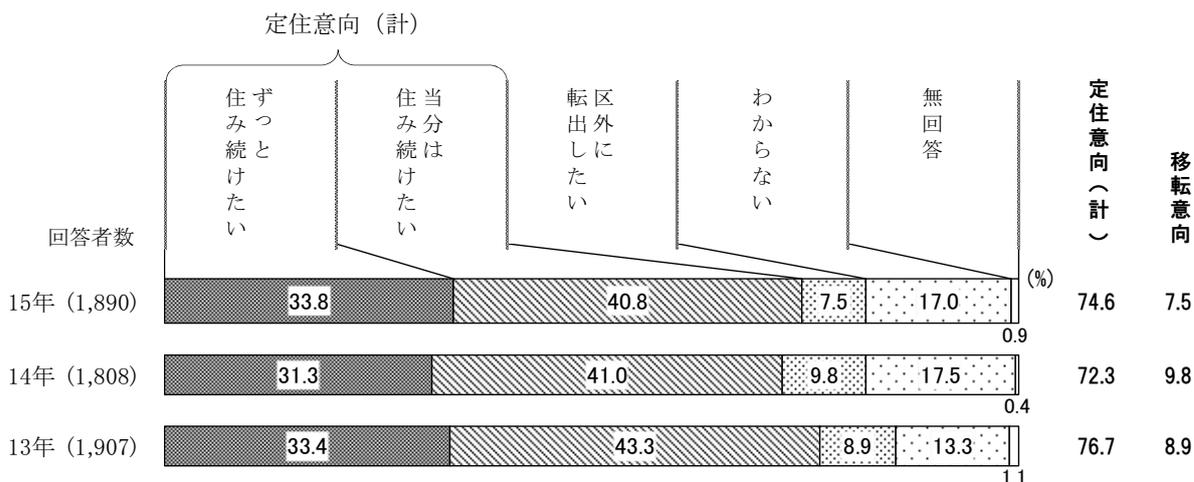


図1-4-1-② 経年比較／定住意向



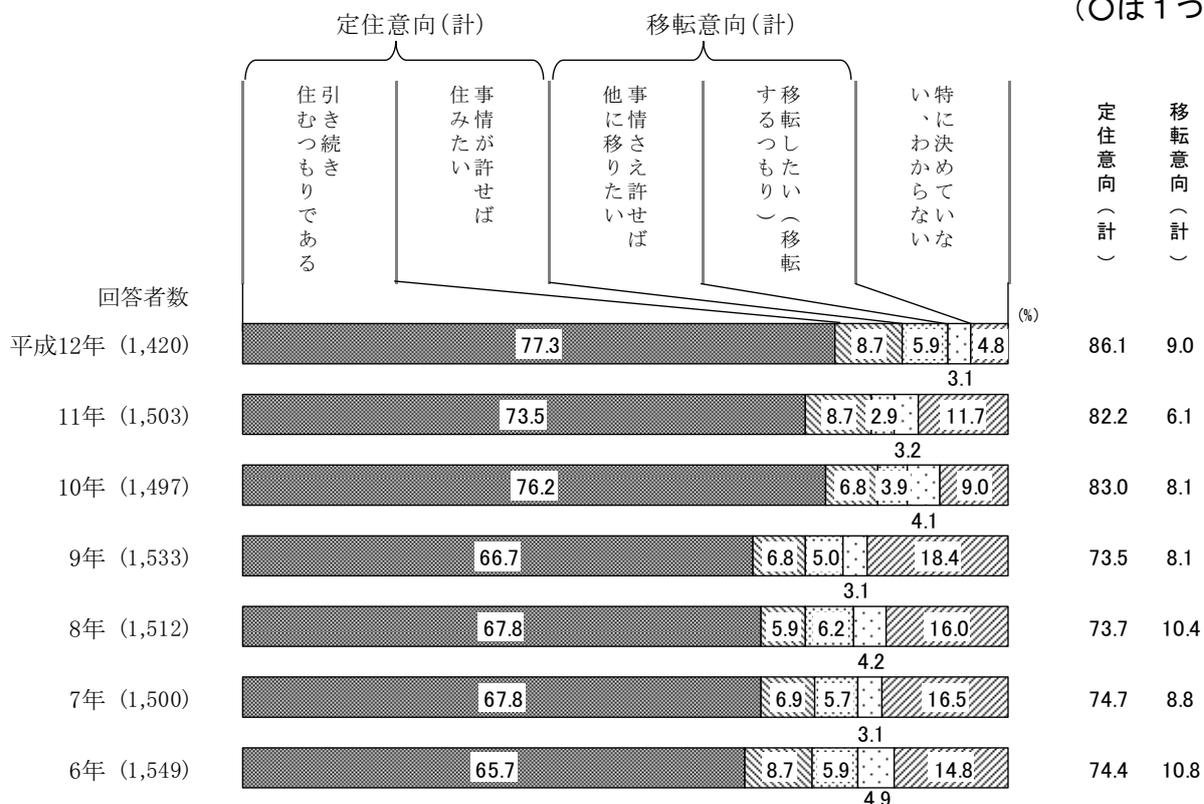
足立区への定住意向をみると、「ずっと住みたい」は36.0%で、「当分は住みたい」(44.0%)を合わせた【定住意向】は8割を占めている。一方、「区外に転出したい」は1割未満となっている。

経年でみると、【定住意向】は現行の選択肢となった平成13年以降、初めて8割台となった。

参考／定住・移転意向の推移

問 あなたは、足立区に今後も住みたいと思いますか。この中から1つにお答えください。

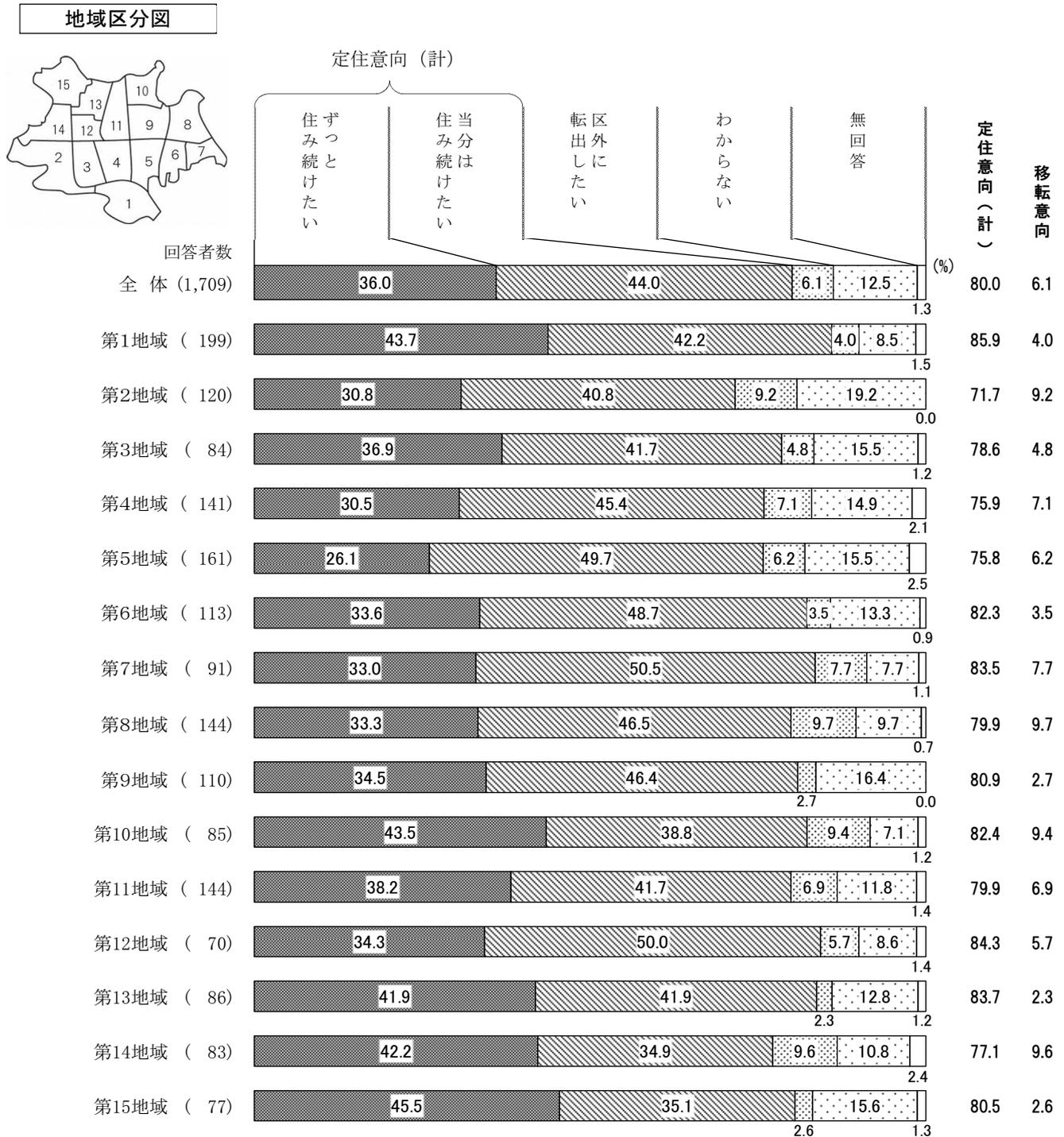
(○は1つ)



※ 平成12年度までと平成13年度以降では、調査方法（平成12年度までは訪問面接法、平成13年度以降は郵送配布郵送回収法）、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域別でみると、【定住意向】は第1地域で85.9%と最も高く、次いで第12地域が84.3%となっている。一方、「区外に転出したい」という【移転意向】は第8地域で9.7%と最も高く、次いで第14地域で9.6%となっている。

図1-4-2 地域別／定住意向

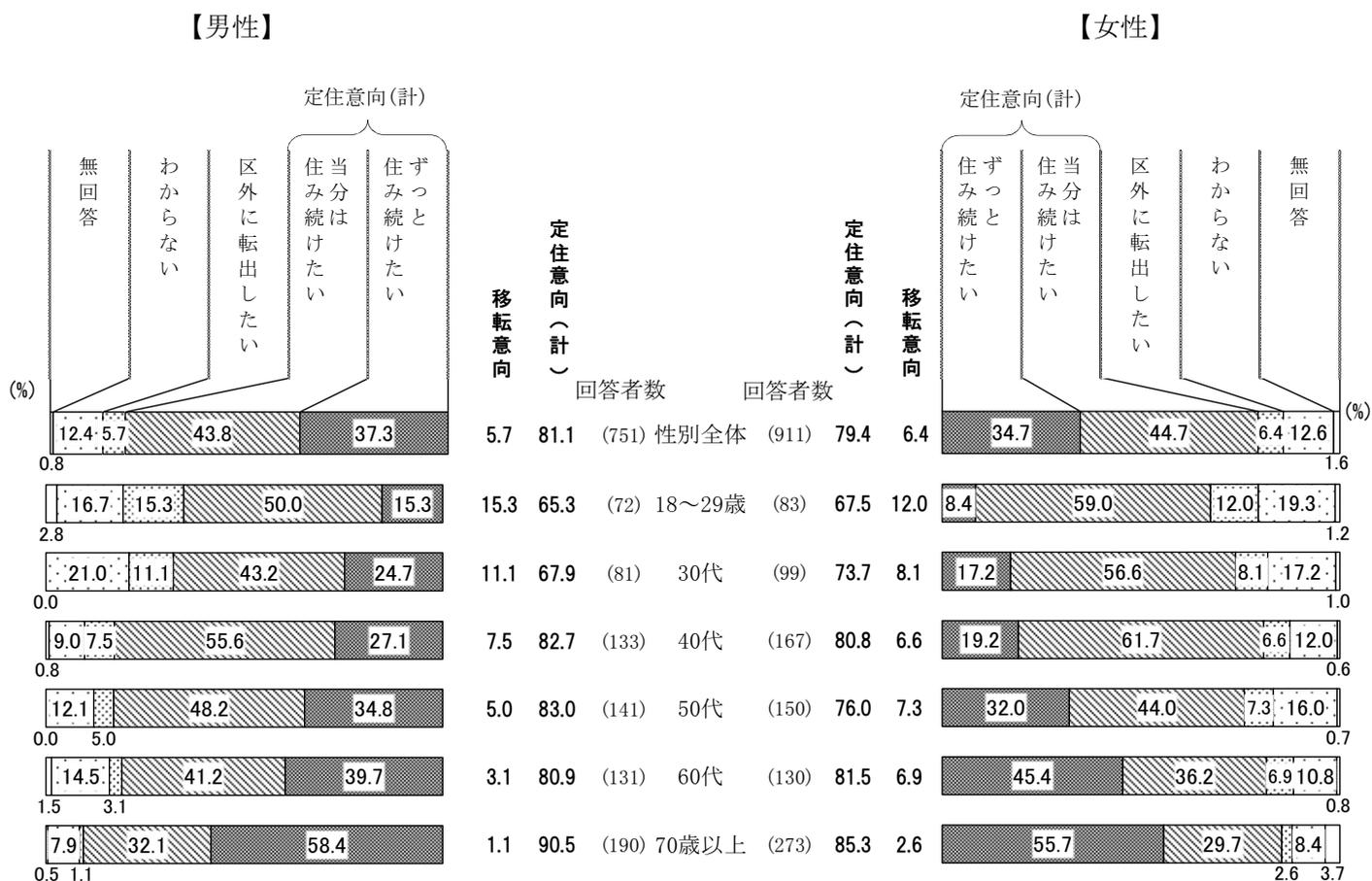


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

性別でみると、【定住意向】は、男性（81.1%）の方が女性（79.4%）より僅かに高くなっている。

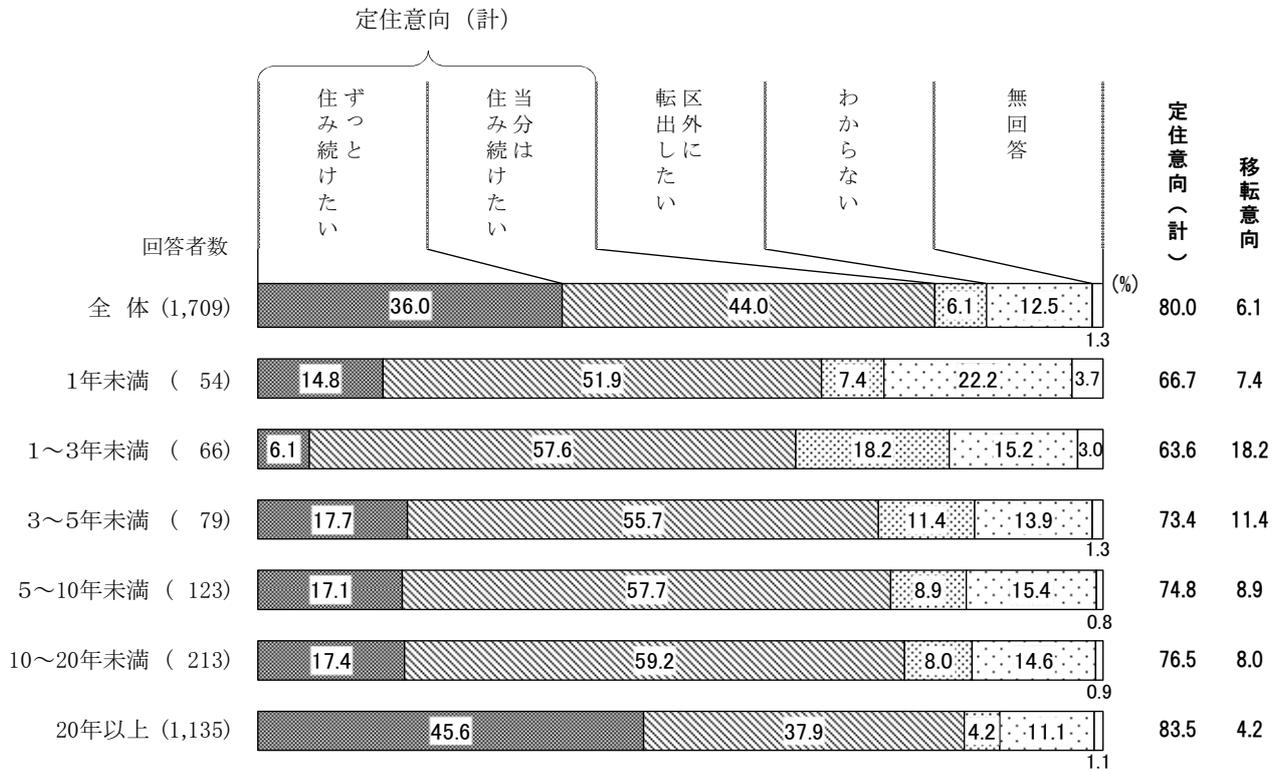
性・年代別でみると、【定住意向】は、男女ともに70歳以上（男性90.5%、女性85.3%）で最も高く、男女ともに18～29歳（男性65.3%、女性67.5%）で最も低くなっている。

図1-4-3 性別、性・年代別／定住意向



居住年数別でみると、【定住意向】は20年以上で83.5%と最も高く、3～20年未満で7割台半ば、0～3年未満で6割台半ばとなっており、居住年数が長くなるほど定住意向の割合が高くなる傾向がみられた。

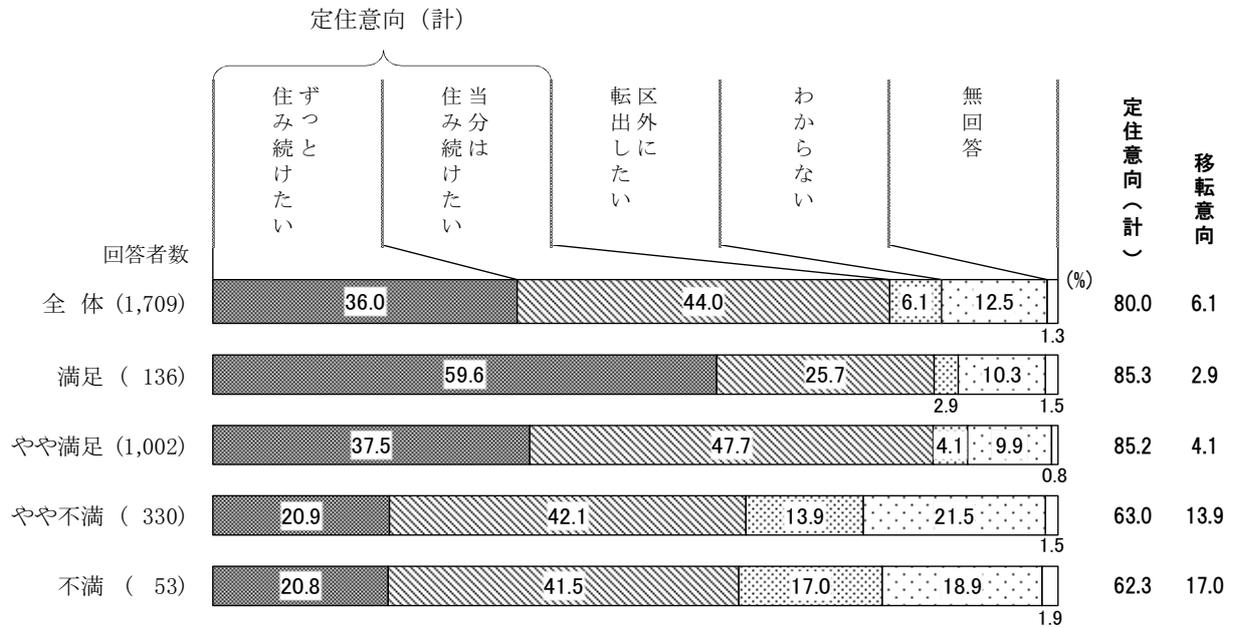
図1-4-4 居住年数別／定住意向



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

区政への満足度別にみると、満足（85.3%）とやや満足（85.2%）の区政に満足している層が8割台半ばと高く、やや不満（63.0%）と不満（62.3%）の区政に不満がある層が6割台前半と低くなっており、満足度によって定住意向の割合に差がみられる。

図1-4-5 区政満足度別／定住意向



ライフステージ別でみると、【定住意向】は〈高齢期〉が85.9%で最も高く、〈(夫婦二人暮らし高齢者)〉(86.8%)、〈(一人暮らし高齢者)〉(85.5%)、〈(その他の高齢者)〉(85.3%)の〈高齢期〉の詳細区分すべてで8割台半ばと高くなっている。一方、〈独身期〉では67.4%と最も低くなっている。

図1-4-6 ライフステージ別/定住意向

